

平成28年度沖縄におけるインバウンドの農林水産物・食品の消費及び農泊の実態調査について

沖縄総合事務局では、(1)クルーズ船利用者及び農産物直売所等に来訪するインバウンド(訪日外国人旅行客)を対象に、農林水産物・食品の消費実態や関心についてアンケート及びヒアリングを実施し、今後の沖縄におけるインバウンド向けの農林水産物・食品の消費拡大や輸出の可能性についての調査を実施しました。併せて、(2)農泊の受入農家等を対象に、インバウンドの受入れについてのアンケートを実施し、農泊等に対するニーズについて取りまとめましたので、御報告します。

1. 調査結果の概要

(1) 農林水産物・食品の消費実態調査

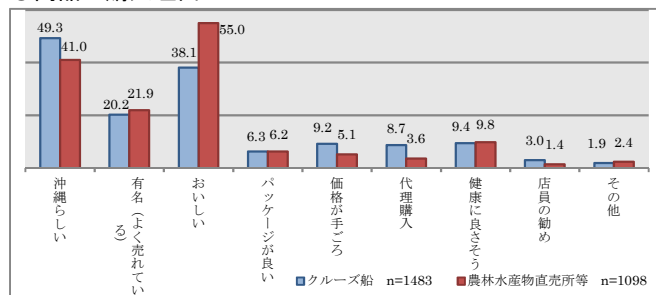
① 購入商品について

購入した商品の情報の入手先では「店頭」が最も高く、次いで「家族・友人・知人」の順となり、「ポータルサイト」や「フェイスブック等SNS」等の情報よりも、実際に沖縄の農林水産物・食品を店頭で得た情報を優先する傾向となり、商品の購入理由では、「沖縄らしい」と「おいしい」が多くなりました。

また、購入しなかったが購入しなかった商品については「石垣牛」、「刺身」、「果物」などの生鮮食品が多くを占めており、その理由としては、「自国に持ち込めるか分からない(検疫)」の割合が最も高く、検疫に関する知識不足が主な購入阻害要因となるケースが多く、他の理由では「運搬中に商品の破損のおそれがある」、「外国語表記がない」、「長持ちしない(賞味期限が短い)」などがありました。

一方、購入時に不便に感じた点では「Wi-Fi環境がない」、「外国語表記がない」の割合が高く、他の理由では、「自国に持ち込めるか分からない(検疫)」、「免税が受けられない」などの理由がありました。

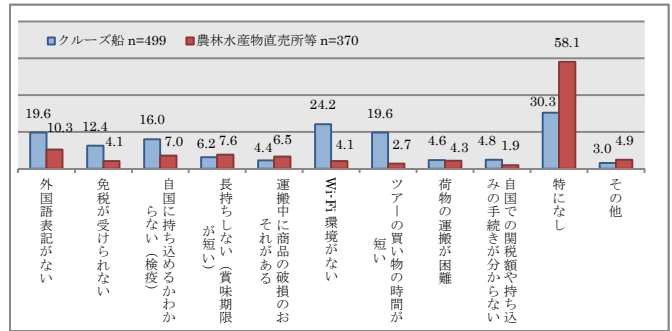
○商品の購入理由



また、食品購入で良かった点は「サービス面」が最も高く、次いで「商品の評価」、「接遇面」と接客面で高評価となりました。

困った点・不便な点では「多言語対応」が突出しており、「通訳のスタッフが少ない」、「中国語や英語での説明書がない」などの意見もありました。

○購入する際に不便な事項

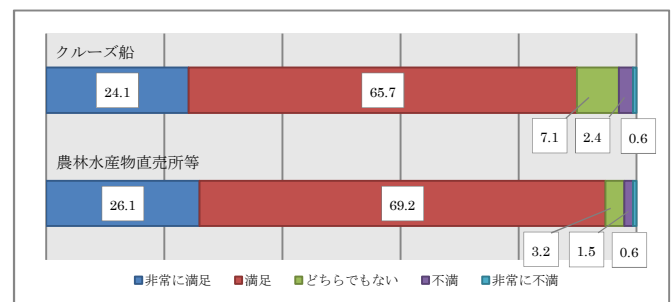


② 外食について

外食した品目では「海鮮料理」、「麺類」、「石垣牛料理」の割合が高く、満足度は非常に高くなっています。

また、外食で良かった点は「サービス面」が最も高く、次いで「味の評価」となり、新鮮、材料が良いなどの質への評価が高くなりました。一方、困った点・不便な点では、「多言語対応」が突出して高く、「翻訳メニューのある店が少ない」、「言葉が通じなかった」などの意見がありました。

○外食満足度



③ 農山漁村体験の意向

沖縄での農山漁村体験についての意向は、約6割が農山漁村での体験をしたいと回答がありました。そのうち関心のある体験は「地元の食材を使った料理体験」が最も高く、次いで「農家民宿」、「農家レストラン」となり、農山漁村体験への関心が高いことが分かりました。

(2) 農泊の受け入れをしている農家の現状と課題

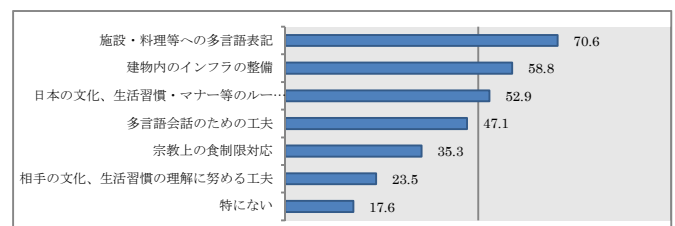
インバウンドを受け入れている地域は、大宜味村、読谷村、名護市など複数ありますが、全体では年間約500名程度の受け入れでした。

受け入れの際に提供している体験では、「農業体験」や「自然体験」など日本人客と同じ体験に加え、「農村地域の伝統文化体験」や「沖縄料理体験」などが人気となります。

インバウンドを受け入れるにあたり困っていることは、生活習慣などのマナーについて理解してもらえないことやルールを守らないことなど言語、コミュニケーション面において多くあるということが分かりました。

また、インバウンドを受け入れるための工夫としては、「施設・料理等への多言語表記」が最も高く、タブレット等の機器の導入や簡易な会話集の導入などの工夫が見られました。

○インバウンドを受け入れるための工夫



(3) 考察

- ① 農林水産物・食品の消費実態調査では、情報の入手先として、店頭が5割を越えており、購入食品は、菓子類が4割を越え、その中でも「黒糖（加工黒糖を含む）」や「紅いも菓子」の購入が多くなっています。このため、インバウンドに沖縄の農林水産物・食品を更に購入してもらうためには、SNS等への情報発信だけではなく、農林水産物直売所等の店頭でのPRも極めて重要となります。

また、購入したかったが購入しなかった商品は、「石垣牛」や「果物」などの生鮮食品が多くあがっており、その理由としては、自国に持ち込めるかが分からないとの回答が多くあります。

特にインバウンドが要望している商品ごとの検疫に関する情報や外国語表記について、まずは各店舗における充実に取り組んでいただくとともに、行政などの関係機関においても各課題に対応した支援策などのサポートが重要となります。

- ② 農泊の実態調査では、インバウンドの受入れにおいて、言語、コミュニケーション面の課題があり、マナーやルールを守らない客への対応に苦慮している農家等が多く見られました。県内の農泊を更に推進するためには、これらの課題への対応が求められており、既に多くで取り組まれている料理などの多言語表記に加えて、インバウンドとのコミュニケーションを円滑にするための受入農家等向けの多言語通訳の研修などを行うことが重要となります。

2. 調査項目

(1) 農林水産物・食品の消費実態調査

① クルーズ船を利用したインバウンド

実施期間：平成28年12月6日～平成29年1月31日

調査地：那覇港クルーズターミナル、ツアーバス車内



② 農林水産物直売所等に立ち寄ったインバウンド

実施期間：平成28年12月9日～平成29年2月2日

調査地：道の駅許田、古宇利島ふれあい広場、
第一牧志公設市場等



(2) 農泊の実態調査

インバウンドを含めた農泊の受入れをしている農家等

実施期間：平成29年1月25日～平成29年2月24日

調査地：名護市、大宜味村、東村、今帰仁村、伊江村等

【お問い合わせ先】

内閣府沖縄総合事務局農林水産部
農村振興課農村活性化推進室

担当者：神里、佐久川

TEL：098-866-1652

FAX：098-860-1194

平成 28 年度 沖縄振興推進調査の調査結果報告

「沖縄におけるインバウンドの農林水産物・食品の 消費及び農泊の実態調査」 【概要版】



平成 29 年 3 月

内閣府沖縄総合事務局

目次


1 調査概要	1
1.1 調査項目と調査概要	1
1.2 各調査の名称について	1
1.3 各設問の基数(n)についての説明	1
2 クルーズ船調査・直売所調査・農泊等調査 結果概要	2
2.1 回答者の属性	2
2.2 購入商品	3
2.3 購入商品の情報収集	4
2.4 購入商品の購入場所	5
2.5 購入商品の1品目平均購入金額	6
2.6 購入商品の購入理由	8
2.7 購入したかったが購入しなかった理由と品目	9
2.8 黒糖の購入状況と購入理由等	10
2.9 黒糖の非購入理由	11
2.10 外食の状況	12
2.10.1 外食情報の入手先	13
2.10.2 外食場所と選択理由	14
2.10.3 外食品の1食平均消費額	16
2.10.4 食品購入で重視する点	17
2.10.5 外食購入で重視する点	17
2.10.6 農山漁村体験への意向	18
2.10.7 農泊 インバウンド受入農家等	19
2.10.8 農泊 インバウンド受入予定の農家等	21
2.10.9 農泊 インバウンド受入予定のない農家等	23

1 調査概要


1.1 調査項目と調査概要

● インバウンドの農林水産物・食品の消費実態調査

クルーズ船


実施期間	平成 28 年 12 月 6 日～平成 29 年 1 月 31 日	
調査対象	クルーズ船を利用しているインバウンド	
調査地	那覇港クルーズターミナル、ツアーバス車内	
調査方法	面接聞き取り調査、配布による自記入式調査	
回収数	767(面接聞き取り回答数：246、ツアーバス回答数：521)	

農林水産物直売所等

実施期間	平成 28 年 12 月 9 日～平成 29 年 2 月 2 日	
調査対象	農林水産物直売所等に来訪したインバウンド	
調査地	道の駅許田、古宇利島ふれあい広場、第一牧志公設市場、泊いゆまち、サンエー那覇メインプレイス	
調査方法	面接聞き取り調査	
回収数	550	

● 農泊の受入れをしている農家等への実態調査

インバウンドの受入れあり | 今後、インバウンド受入予定 | インバウンド受入予定なし

実施期間	平成 29 年 1 月 25 日～平成 29 年 2 月 24 日	
調査対象	インバウンドを含めた農泊の受入れをしている農家等	
調査地	名護市、大宜味村、東村、今帰仁村、伊江村、読谷村、糸満市	
調査方法	郵送調査	
回収数	127	

1.2 各調査の名称について

本調査概要版のグラフタイトル等では、各調査の名称を下記のように略称で表示しています。

「インバウンドの農林水産物・食品の消費実態調査」クルーズ船調査 → 「クルーズ船」

「インバウンドの農林水産物・食品の消費実態調査」農林水産物直売所等調査 → 「農林水産物直売所等」

1.3 各設問の基数(n)についての説明

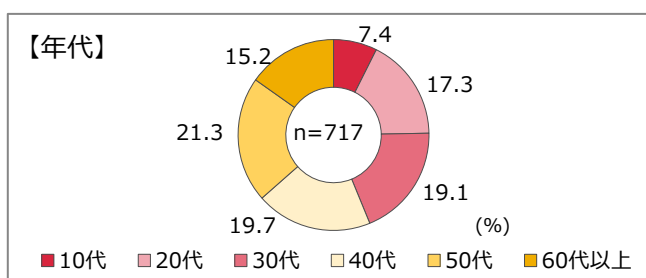
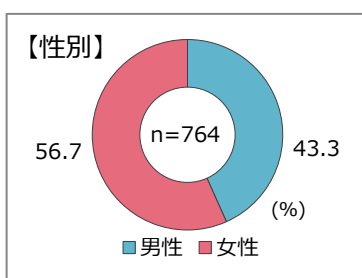
- ① クルーズ船及び農林水産物直売所等の各設問の集計については、「無回答」を除いて集計をしており、各設問によって基数(n)が異なります。
- ② 購入食品・お土産の設問は、購入商品を純粋に想起していただき、その商品ごとに回答いただいております。対象者によって回答している商品の数に差があります。また、購入商品の集計・グラフについては、回答された回答数をたし挙げて集計しており、属性の基数(n)とは異なります。
- ③ 購入食品・お土産の設問は、購入商品ごとにいくつかの設問を回答いただいております。各設問で「無回答」を除いて集計していますので、同一商品でも設問が異なれば基数(n)が異なります。

2 クルーズ船調査・直売所調査・農泊等調査 結果概要

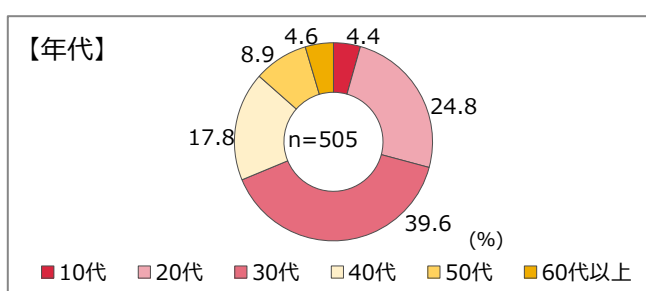
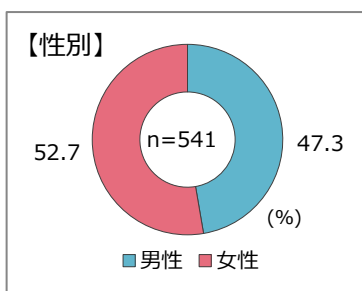
2.1 回答者の属性

- ・クルーズ船は30代以下が半数以下の約44%なのに対し、農林水産物直売所等では40代以上が約70%を占めています。
- ・クルーズ船調査時期の寄港船は、台湾基隆、中国南沙が出発港の大半で、台湾が多く占めていました。
- ・沖縄訪問回数は「1回目」が両調査とも約7割となっていますが、平成27年の沖縄県の入域統計と比較すると、リピーターがやや多くなっています。
- ・農泊の対象は、現在「受け入れあり」が22件、「今後受入予定」が45件、「受入予定なし」が60件でした。

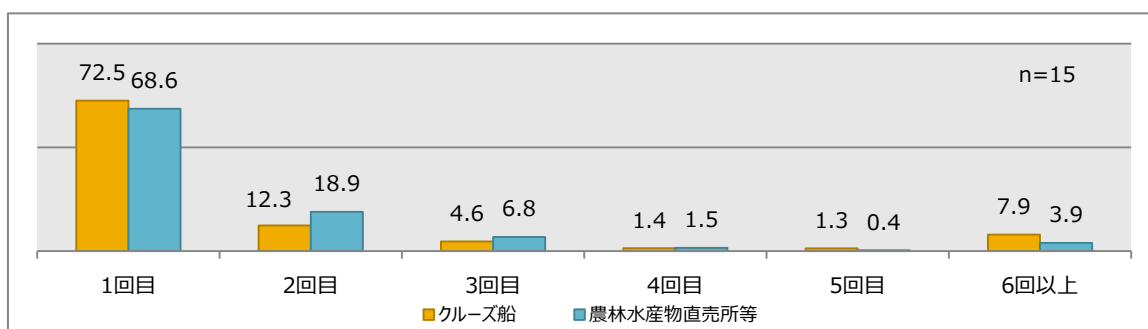
●クルーズ船



●農林水産物直売所等



●沖縄の来訪回数



●農泊の地点別回答数

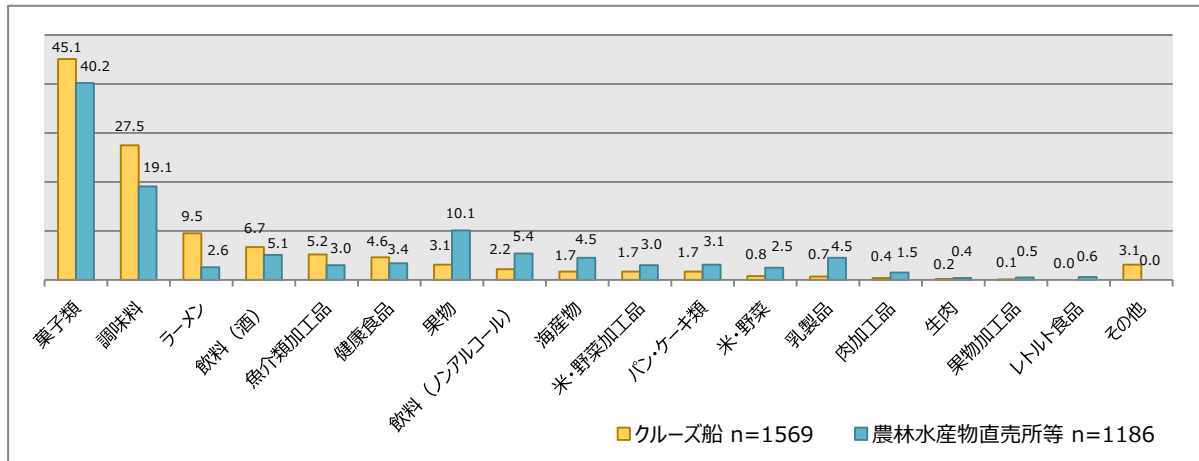
受入状況	総数	名護市	大宜味村	糸満市	東村	読谷村	今帰仁村	伊江村
インバウンド受け入れあり	22	2	10	2	2	3	2	1
今後、インバウンド受入予定	45	2	6	14	8	3	-	12
インバウンド受入予定なし	60	-	20	21	6	-	-	13

2.2 購入商品

・購入商品は「菓子類」が両調査とも多く、次いで「調味料」となっています。但し、調味料には「黒糖(加工黒糖を含む)」が分類上含まれ、約20%程度となっています。

・クルーズ船の購入商品は「黒糖(加工黒糖を含む)」「紅いも菓子」「インスタントラーメン」の順で、農林水産物直売所等では「黒糖(加工黒糖を含む)」「紅いも菓子」「ちんすこう」となり、大差はありませんが、若い世代が多い直売所では「その他の果物」もやや多くなっています。

●購入商品名



●クルーズ船・農林水産物直売所等 購入商品 上位5

クルーズ船 n=1569	黒糖(加工黒糖を含む)	24.0	農林水産物直 売所等 n=1186	黒糖(加工黒糖を含む)	12.2
	紅いも菓子	11.3		紅いも菓子	8.3
	インスタントラーメン	8.8		ちんすこう	5.1
	こんにゃくゼリー	8.2		その他果物	3.9
	黒糖ピーナッツ	6.4		クッキー	4.0

●主な国籍・地域別 クルーズ船・農林水産物直売所等 購入商品 上位5

クルーズ船 n=1569	中国 n=295		台湾 n=1179	
	チョコレート	6.8	黒糖(加工黒糖を含む)	28.8
	黒糖(加工黒糖を含む)	6.4	紅いも菓子	12.4
	紅いも菓子	5.8	こんにゃくゼリー	10.1
	インスタントラーメン	5.8	インスタントラーメン	9.8
飴	5.8	黒糖ピーナッツ	7.5	

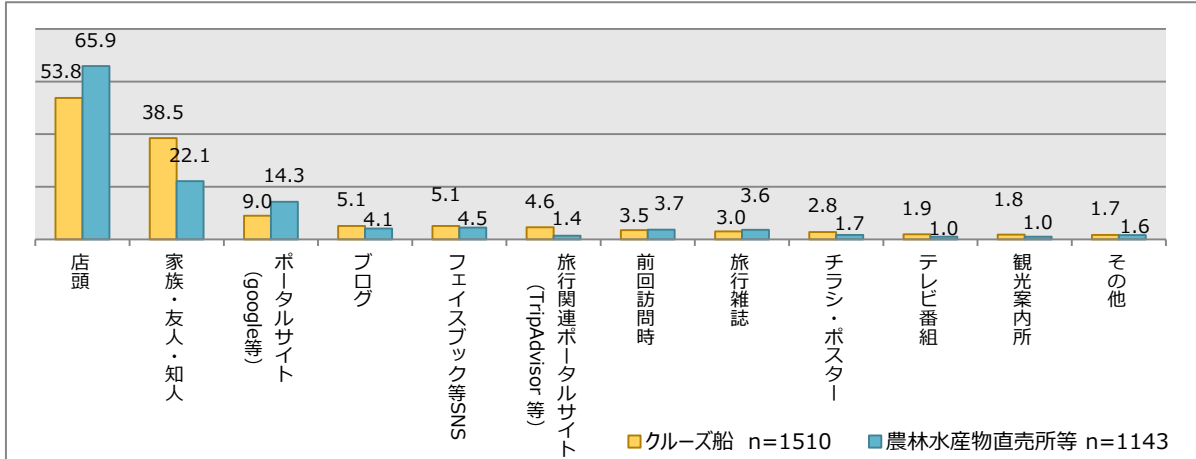
農林水産物直 売所等 n=1186	中国 n=416		台湾 n=454	
	黒糖(加工黒糖を含む)	13.2	黒糖(加工黒糖を含む)	13.7
	紅いも菓子	9.1	紅いも菓子	6.4
	ちんすこう	6.3	クッキー	4.8
	クッキー	4.8	ちんすこう	4.6
いちご	4.6	いちご	4.2	

注意：「黒糖」については分類上、「調味料」に含めています。

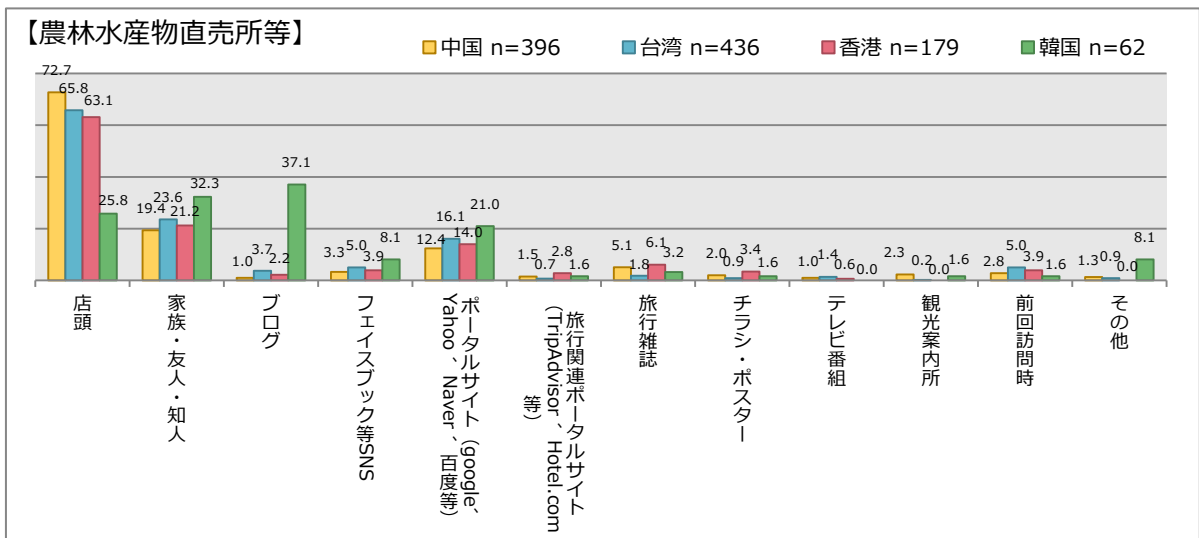
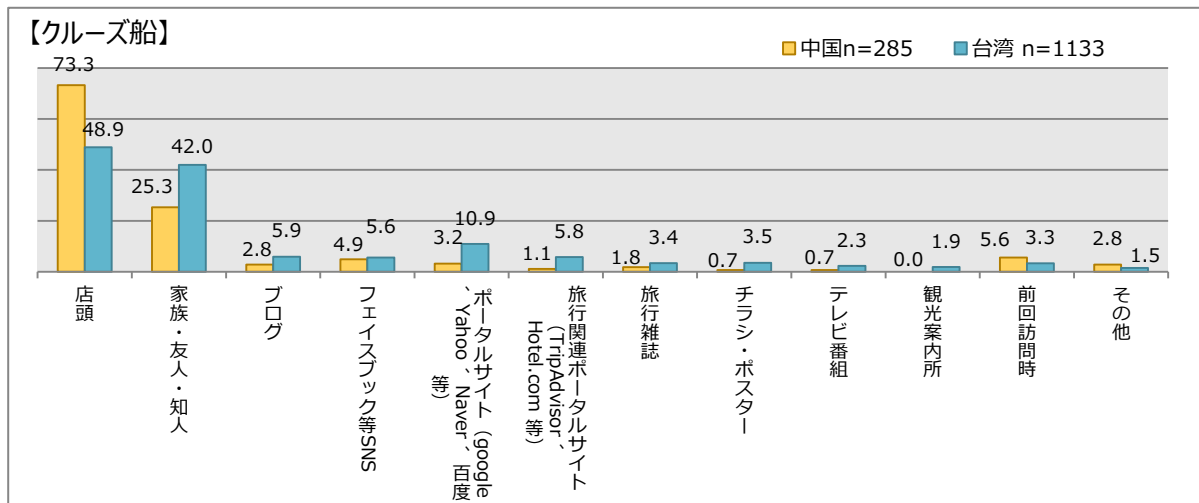
2.3 購入商品の情報収集

・購入商品の情報収集媒体は、「店頭」との回答が両調査とも多く、インスタマーケティングの重要性がうかがえます。
 一方で、「ポータルサイト」や「ブログ」等、現状の情報発信・収集の主要媒体が低く、母国での「SNS 等を活用したマーケティング」の必要性も考えられます。

●情報の入手先

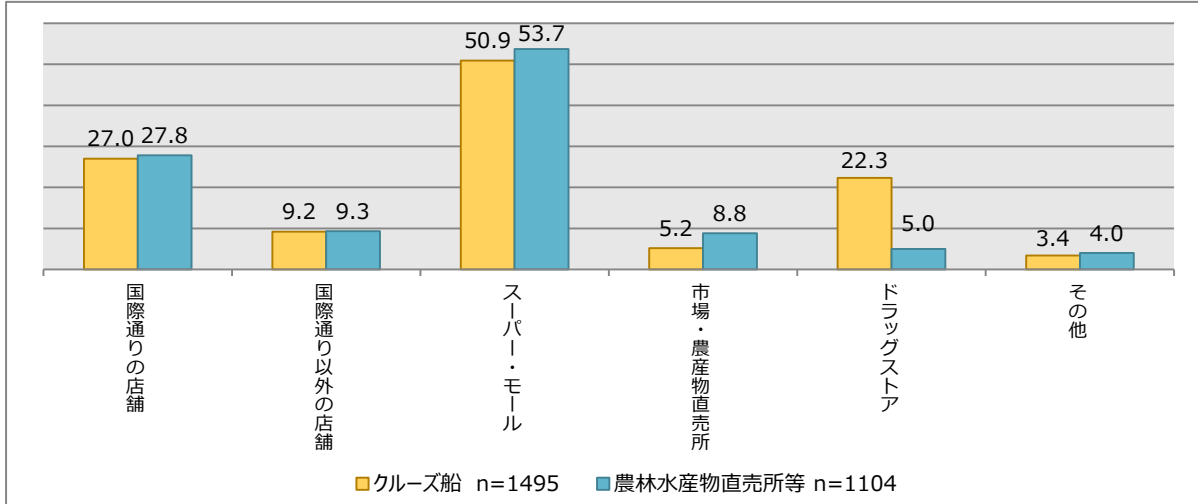


●主な国籍・地域別

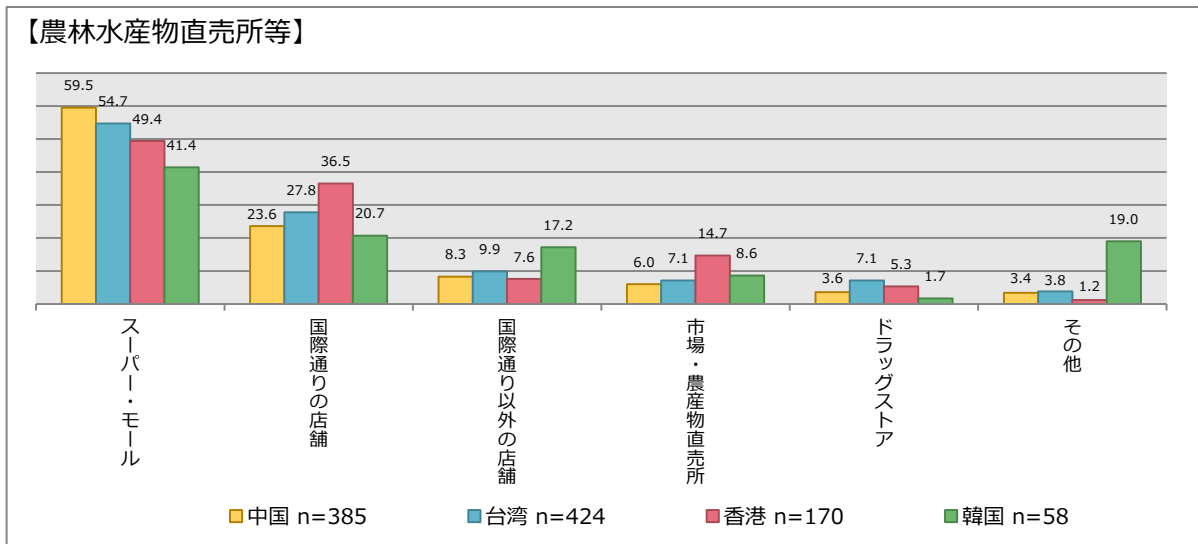
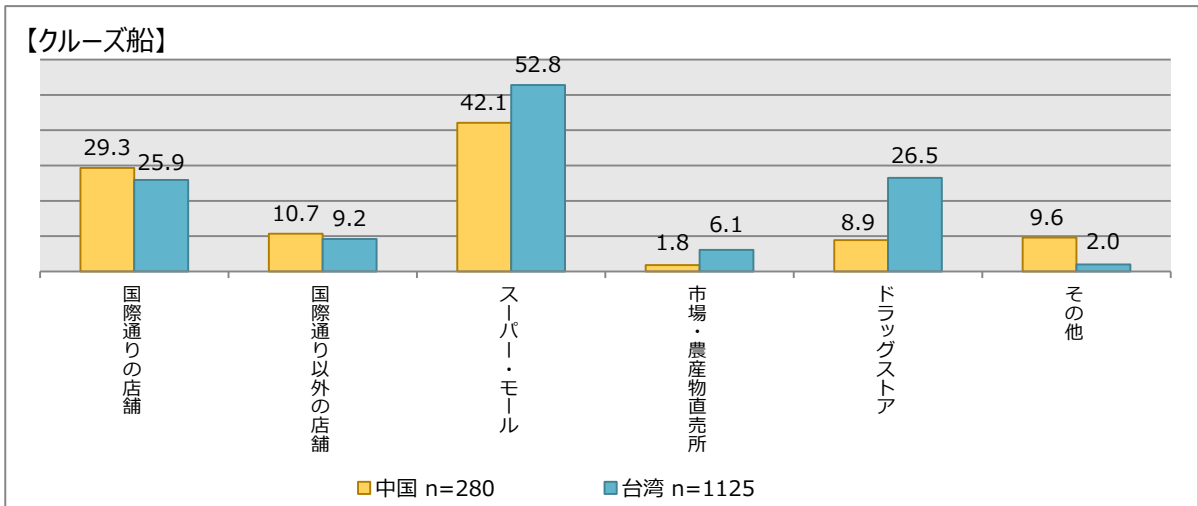


2.4 購入商品の購入場所

・商品の購入場所は、「スーパー・モール」が両調査とも過半数を占めており、次いで「国際通りの店舗」となっています。
 主な国籍・国別では、クルーズ船利用者では「ドラッグストア」での購入する台湾の方が目立ちます。

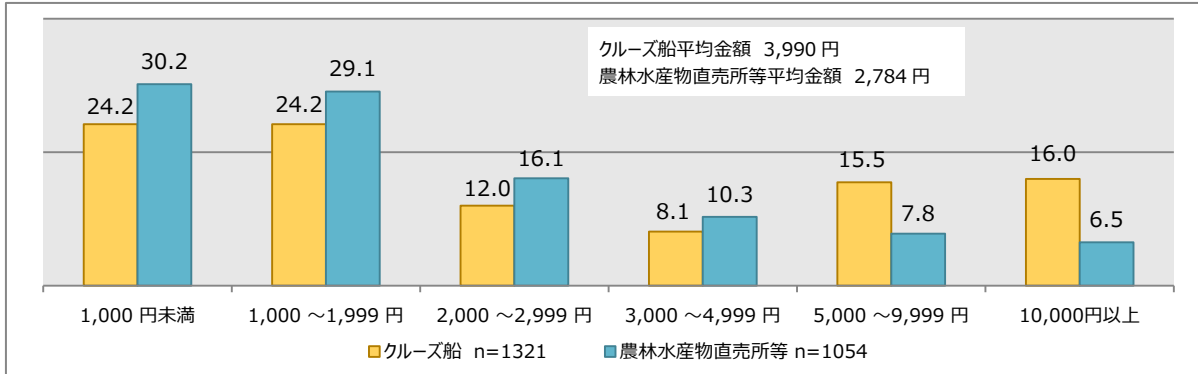


● 主な国籍・地域別



2.5 購入商品の1品目平均購入金額

・商品1品目当たりの購入金額平均はクルーズ船で3,990円、農林水産物直売所等では2,784円とクルーズ船の購入平均金額が多くなっています。また、国籍・地域別では台湾の方の5,000円以上の購入割合が多くなっています。

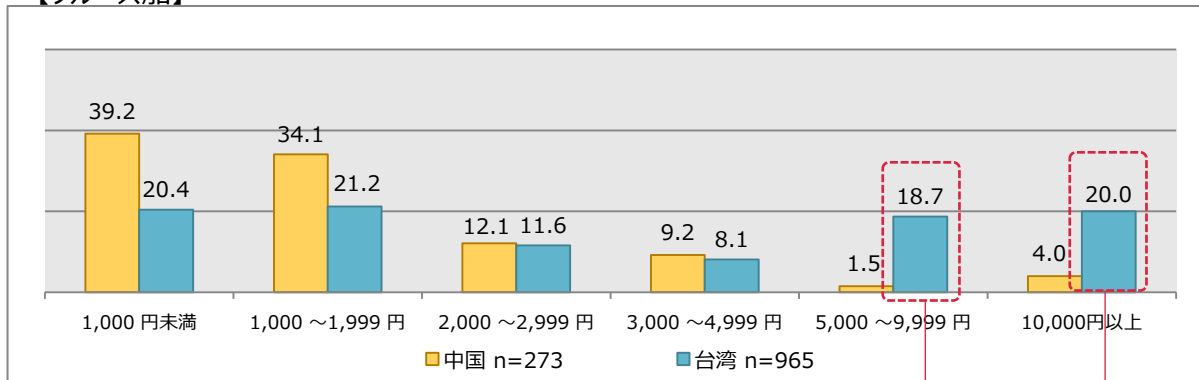


● 国籍・地域別

【クルーズ船品目別購入金額】

	n (回答品目数)	1,000円 未満	1,000～ 1,999円	2,000～ 2,999円	3,000～ 4,999円	5,000～ 9,999円	10,000円 以上
全体	1321	24.2	24.2	12.0	8.1	15.5	16.0
1 黒糖(加工黒糖を含む)	265	18.5	24.5	13.6	7.9	19.6	15.8
2 紅いも菓子	133	10.5	21.1	17.3	9.8	27.1	14.3
3 インスタントラーメン	87	27.6	23.0	8.0	13.8	12.6	14.9
4 ごんにゃくゼリー	83	43.4	22.9	12.0	8.4	1.2	12.0
5 黒糖ピーナッツ	57	14.0	19.3	15.8	1.8	28.1	21.1
6 煎餅	55	23.6	25.5	18.2	16.4	5.5	10.9
7 昆布	37	10.8	18.9	13.5	10.8	29.7	16.2
8 泡盛	30	-	6.7	13.3	13.3	33.3	33.3

【クルーズ船】

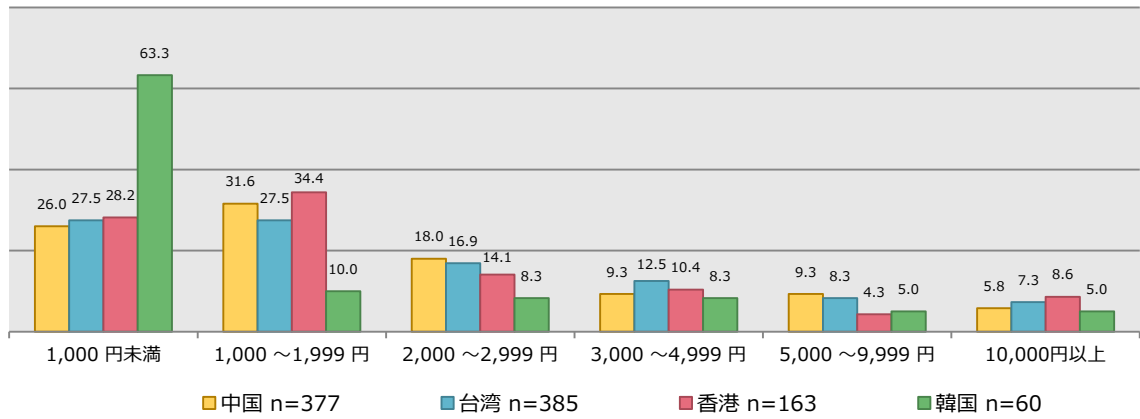


● 台湾の高額購入金額での購入品目

台湾	n (回答品目数)	5,000～ 9,999円
全体	175	100.0
1 黒糖(加工黒糖を含む)	47	26.9
2 紅いも菓子	30	17.1
3 黒糖ピーナッツ	13	7.4
4 泡盛	9	5.1
5 ごんにゃくゼリー	9	5.1

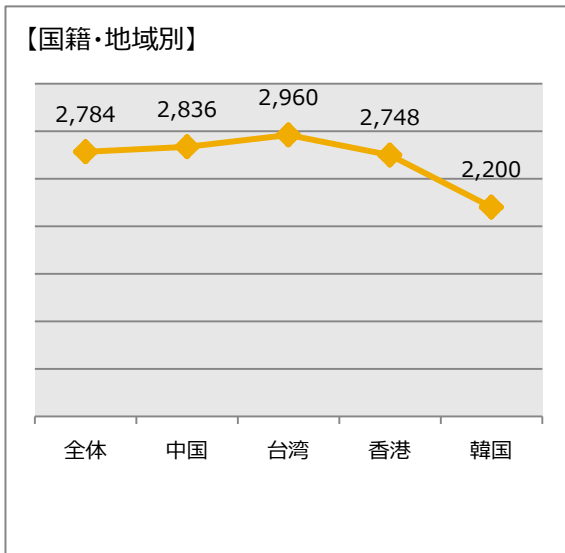
台湾	n (回答品目数)	10,000円 以上
全体	182	100.0
1 黒糖(加工黒糖を含む)	42	23.1
2 紅いも菓子	19	10.4
3 ごんにゃくゼリー	13	7.1
4 黒糖ピーナッツ	11	6.0
5 インスタントラーメン	10	5.5

【農林水産物直売所等】



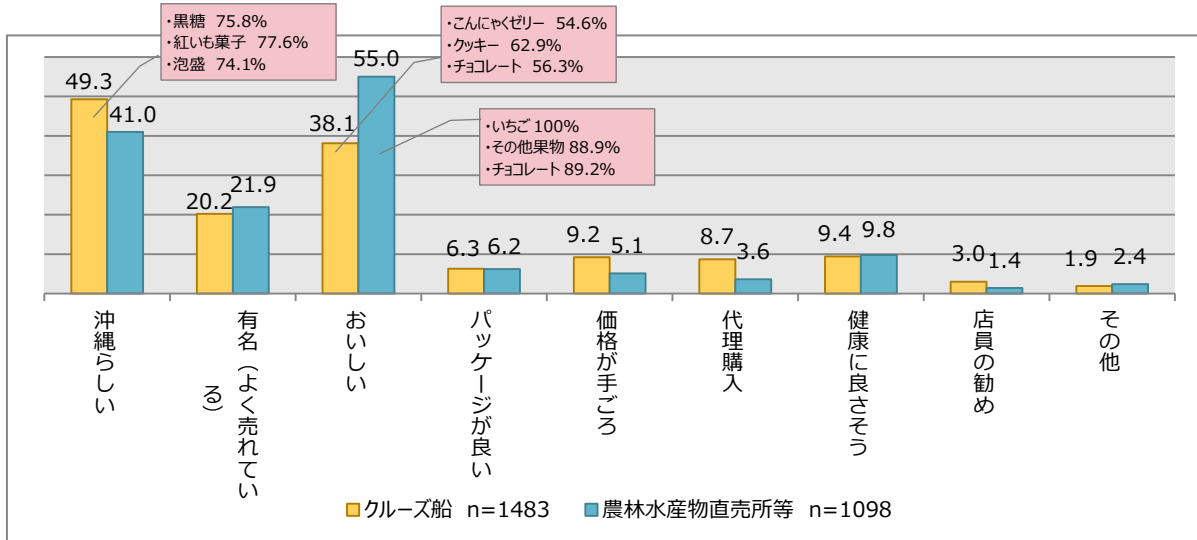
	n (回答品目数)	1,000円 未満	1,000～ 1,999円	2,000～ 2,999円	3,000～ 4,999円	5,000～ 9,999円	10,000円 以上
全体	1054	30.2	29.1	16.1	10.3	7.8	6.5
1 黒糖(加工黒糖を含む)	129	14.0	34.1	21.7	9.3	9.3	11.6
2 紅いも菓子	91	3.3	19.8	19.8	20.9	17.6	18.7
3 ちんすこう	56	12.5	39.3	5.4	8.9	16.1	17.9
4 クッキー	42	9.5	14.3	28.6	28.6	14.3	4.8
5 いちご	40	27.5	42.5	12.5	17.5	-	-
6 アイスクリーム	36	91.7	2.8	2.8	-	-	2.8
7 チョコレート	31	6.5	19.4	6.5	22.6	29.0	16.1

●平均消費金額

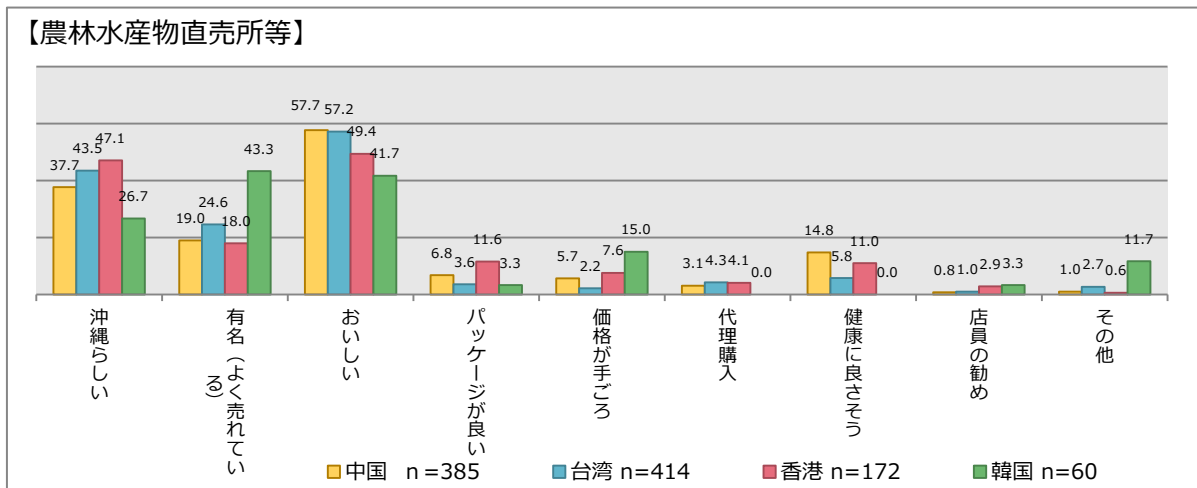
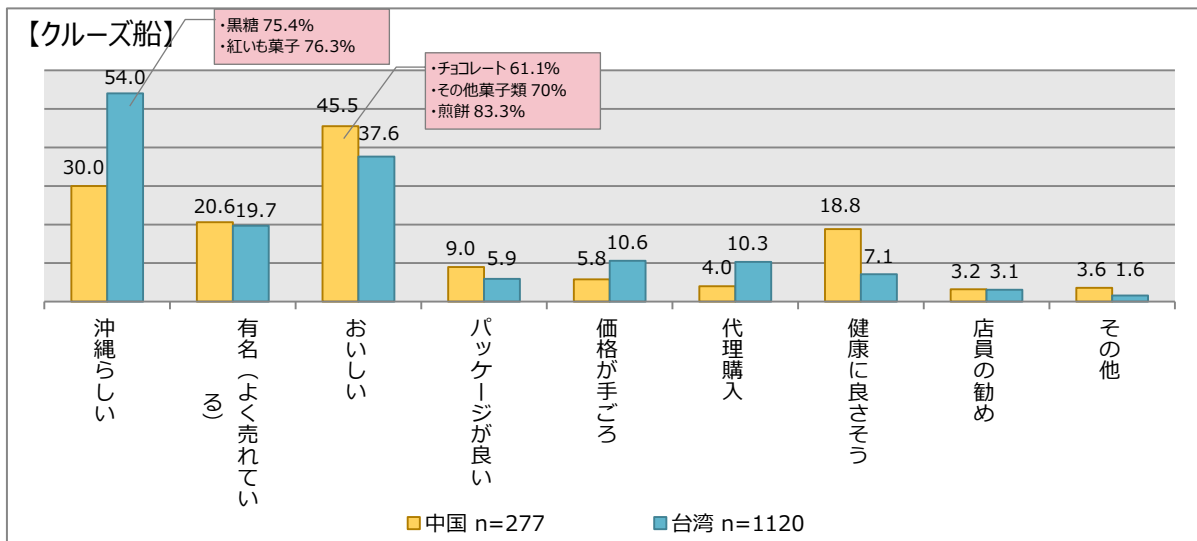


2.6 購入商品の購入理由

・商品の購入理由は「沖縄らしい」と「おいしい」が多くなっており、「沖縄らしい」との回答は「黒糖(加工黒糖を含む)」「紅いも菓子」「泡盛」で多く、「おいしい」との回答は、「こんにゃくゼリー」「チョコレート」「その他の果物」となり、品目により異なっています。

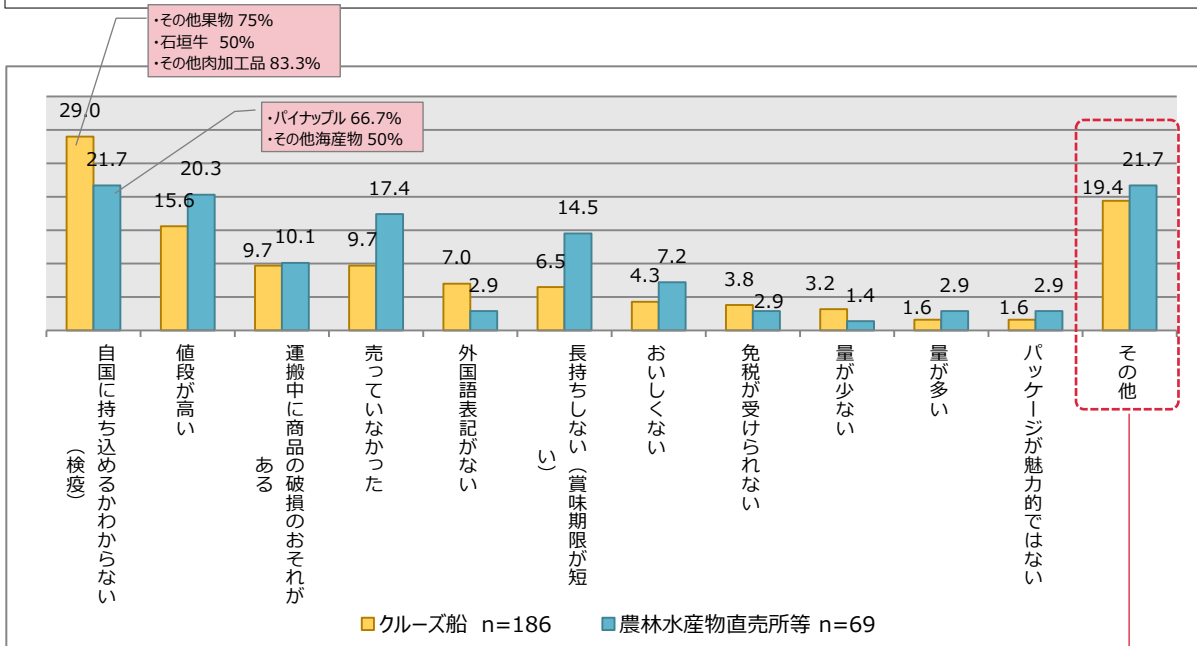


● 国籍・地域別



2.7 購入したかったが購入しなかった理由と品目

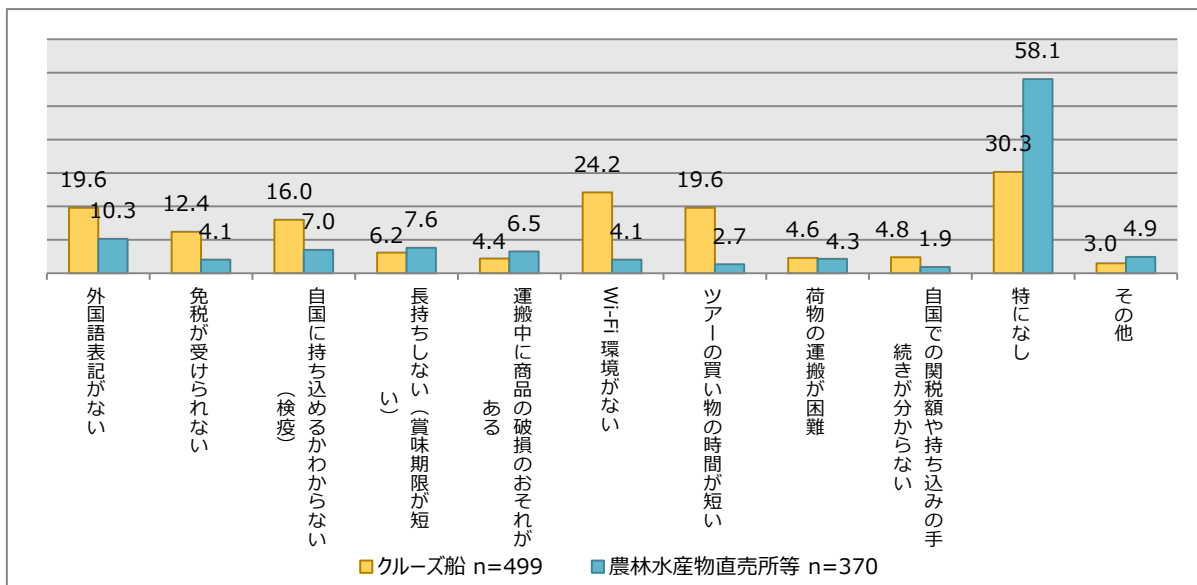
・購入したかったが購入しなかった理由は「自国に持ち込めるかわからない」との回答が多く、検疫関連の正確な訴求が必要となります。次いで「値段が高い」や「売っていなかった」となっています。



● その他

クルーズ船 n=122	石垣牛	4.9	農林水産物直売所等 n=70	白い恋人	10.0
	黒糖(加工黒糖を含む)	4.9		泡盛	8.6
	その他肉加工品	4.9		パイナップル	4.3
	白い恋人	4.9		石垣牛	4.3
	刺身	3.3		海ぶどう	2.9

● 購入する際に不便な事項

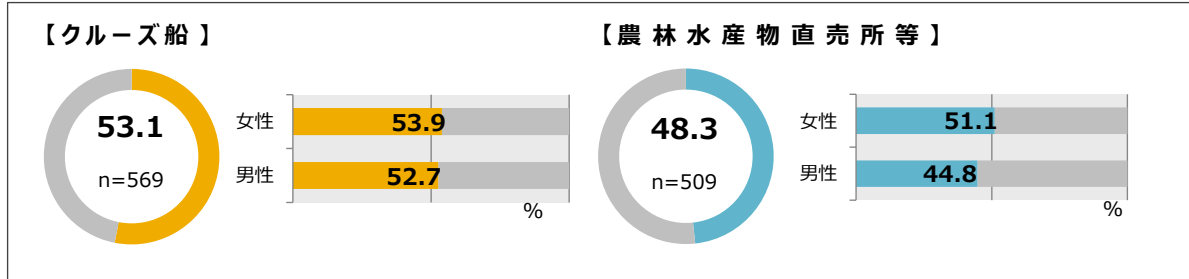


2.8 黒糖の購入状況と購入理由等

・黒糖の購入率はクルーズ船の方が多く 53.1%となり、農林水産物直売所等では若干下回り 48.3%となっています。また、50代、60代以上の高齢層が多いクルーズ船の購入率がやや高くなっています。

・購入理由は「沖縄産・日本産の黒糖だから」との回答が圧倒的に多く、特に日常的に食用のシーンが多い台湾では、中国よりもこの傾向は多くなっています。

●購入者



●非購入者

【クルーズ船】		【直売所】	
中国 n=130	74.6	中国 n=184	55.4
台湾 n=411	38	台湾 n=178	38.8
香港 n=6	16.7	香港 n=88	52.3
韓国 n=-	-	韓国 n=28	96.4

●購入理由

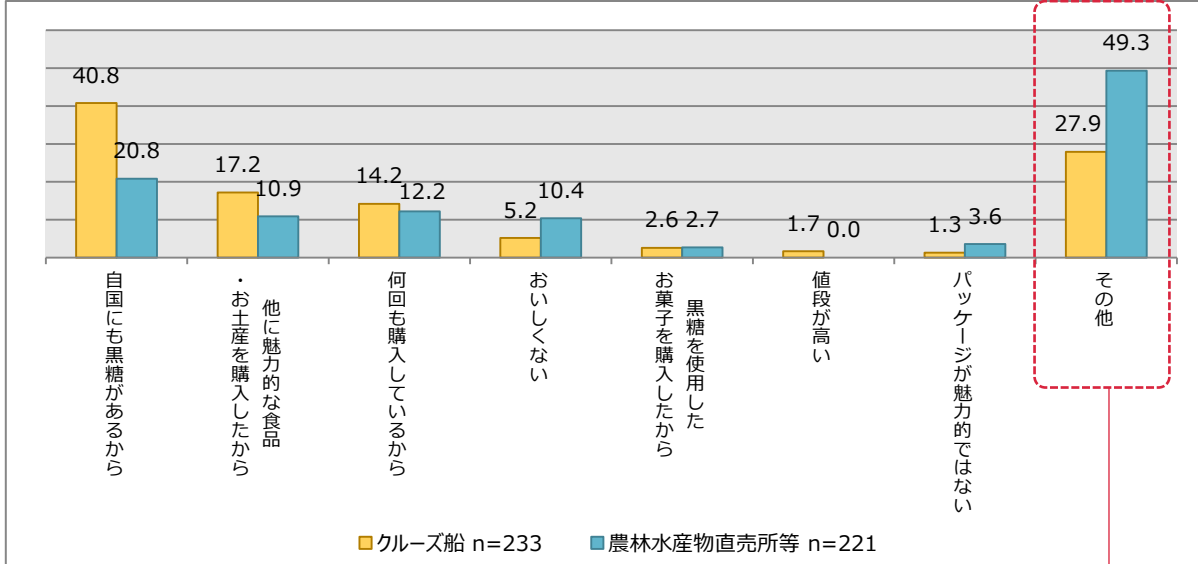
		おいしい	値段が安い	沖縄産・日本産の黒糖だから	パッケージが魅力的	何回も購入している	自国の黒糖よりも品質がいいから	他に魅力のある食品・お土産がないから	その他
クルーズ船	全体 n=258	39.1	11.6	76.4	2.7	5	5.4	0.4	4.7
	中国 n=26	30.8	19.2	69.2	7.7	3.8	11.5	-	15.4
	台湾 n=224	40.6	11.2	77.2	2.2	5.4	4.9	0.4	3.1
農林水産物直売所等	全体 n=198	31.8	7.1	78.3	1.0	2.0	5.6	1.5	3.0
	中国 n=63	25.4	9.5	71.4	1.6	1.6	3.2	1.6	3.2
	台湾 n=91	31.9	6.6	84.6	1.1	2.2	6.6	2.2	3.3
	香港 n=33	36.4	3	78.8	-	3	3	-	3
	韓国 n=1	0	-	100	-	-	-	-	-

●購入対象

		自分	家族・友人・知人	同僚	その他
クルーズ船	全体 n=294	55.8	76.5	6.8	1
	中国 n=33	75.8	78.8	-	-
	台湾 n=248	52.0	78.6	8.1	0.8
農林水産物直売所等	全体 n=241	76.3	73.4	5	0.4
	中国 n=81	79	70.4	6.2	-
	台湾 n=107	74.8	78.5	3.7	0.9
	香港 n=41	78	68.3	2.4	-
	韓国 n=1	-	100	-	-

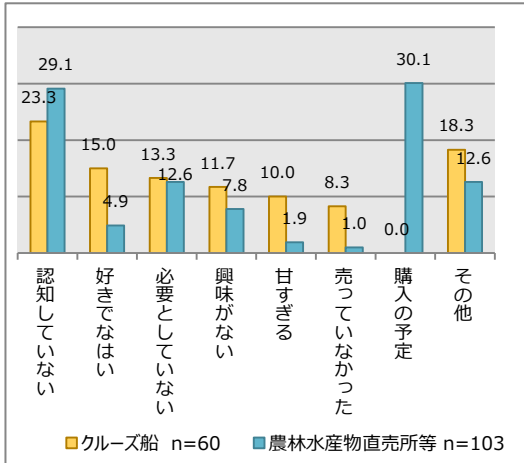
2.9 黒糖の非購入理由

・黒糖の非購入理由は「自国にも黒糖があるから」との回答が最も多くなっていますが、「その他」の理由も多く、その中では「認知していない」との回答が多くなっています。



● その他

● 内訳



● FA の抜粋

【クルーズ船】

- ・ 免税手続きの問題
- ・ 台湾のカードでは ATM でお金をおろせない
- ・ 会計が煩雑
- ・ 言葉が通じない
- ・ 品物が高い
- ・ 店によって値段が違う
- ・ デパートの閉店時間が早い
- ・ 購入した荷物を運ぶ時の問題

【農林水産物直売所等】

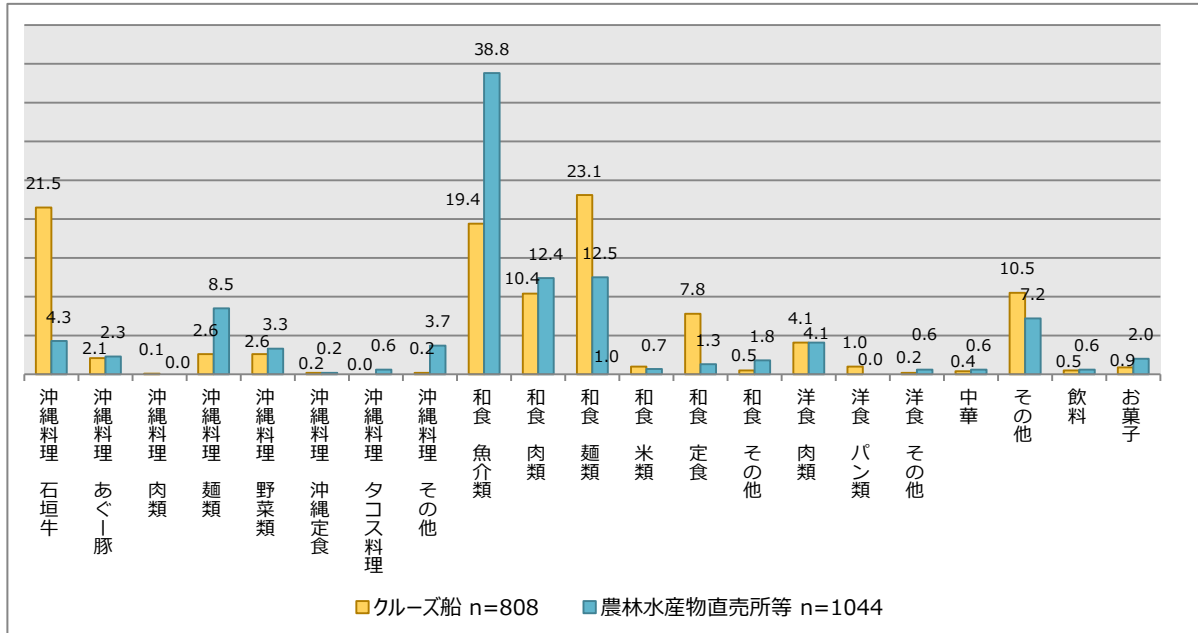
- ・ 支払方法
- ・ クレジットカード対応していない
- ・ 言葉の問題
- ・ 店員の態度に不満
- ・ 交通が不便
- ・ 中国語の表記が正しくない
- ・ アレルギー表示ラベルがない
- ・ お土産（お菓子）の箱が大きすぎる
- ・ 荷物の制限がある
- ・ 日本の食品の味が合わない

● 農林水産物直売所等における「その他」の国籍・地域別理由

農林水産物直売所等	認知していない	好きではない	必要としていない	興味がない	甘すぎる	売っていないかった	購入の予定	その他
中国 n=39	41	7.7	17.9	10.3	5.1	2.6	10.3	5.1
台湾 n=28	14.3	-	14.3	7.1	-	-	42.9	21.4
香港 n=22	4.5	9.1	9.1	4.5	-	-	59.1	13.6
韓国 n=6	50	-	-	16.7	-	-	16.7	16.7

2.10 外食の状況

・外食の品目は「和食魚介類」が農林水産物直売所等では38.8%とクルーズ船よりも多く特徴的です。クルーズ船では「石垣牛」「和食麺類」も多くなっており、農林水産物直売所等では、公設市場のようにその場で海産物が食べられるといった特徴があるため多くなっていると想定されます。また、「石垣牛」については、クルーズ船が特徴的で、年代別にみると40代から60代以上の方に多く食べられています。



【クルーズ船】

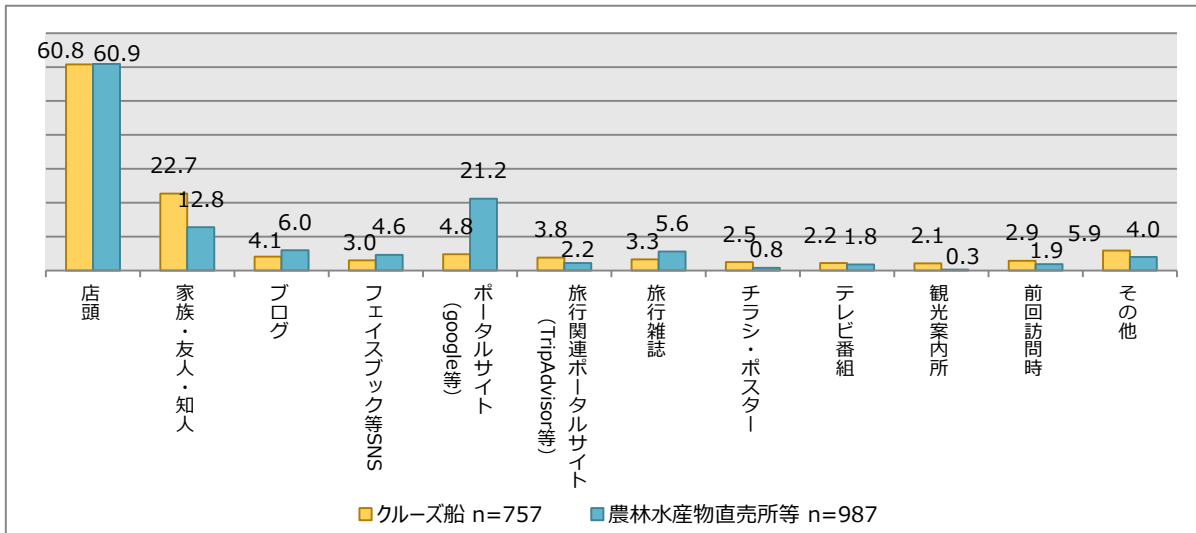
		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
全体	n (回答品目数)	ラーメン	石垣牛	刺身	焼肉	和食定食	buffet	海鮮料理	弁当	ステーキ	寿司
	808	22.2	19.7	12.3	9.2	7.8	4.5	4.3	3.5	3.2	3.1
中国	n	沖縄そば	ラーメン	焼肉	寿司	おにぎり	弁当	刺身	日本そば	ステーキ	buffet
	123	14.6	13.0	12.2	9.8	6.5	6.5	3.3	3.3	3.3	3.3
台湾	n	ラーメン	石垣牛	刺身	和食定食	焼肉	buffet	海鮮料理	ステーキ	弁当	あぐー豚料理
	633	24.8	23.7	13.6	9.2	8.2	4.9	4.6	2.8	2.8	2.2

【農林水産物直売所等】

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
全体	n (回答品目数)	刺身	海鮮料理	ラーメン	焼肉	沖縄そば	寿司	チャンプルー料理	ステーキ	石垣牛焼肉	あぐー豚料理
	1044	18.5	12.6	11.2	10.9	8.5	7.5	2.8	2.7	2.2	2.1
中国	n	刺身	海鮮料理	焼肉	ラーメン	寿司	沖縄そば	石垣牛焼肉	チャンプルー料理	石垣牛	和食定食
	382	25.4	12.8	10.5	10.5	9.2	7.3	3.7	3.4	2.4	2.1
台湾	n	ラーメン	焼肉	海鮮料理	沖縄そば	刺身	寿司	チャンプルー料理	ステーキ	アイスクリーム	
	346	13.9	12.7	11.8	11.3	10.7	6.6	2.3	2.3	1.7	

2.1.1 外食情報の入手先

・外食の情報入手先は、「店頭」との回答が最も多く、一部「ポータルサイト」との回答は、若い世代が多い農林水産物直売所等で 21.2%とクルーズ船よりも多くなっています。また、「石垣牛」「海鮮」「ステーキ」を食べた方は「ポータルサイト」と回答した割合が多くなっています。



【クルーズ船】

	n (回答品目数)	店頭	知 人 家 族 ・ 友 人 ・	ブ ロ グ	フ ェ イ ス ブ ッ ク 等 S N S	ポ ー タ ル サ イ ト	ポ ー タ ル サ イ ト 旅 行 関 連	旅 行 雑 誌	ポ ス タ ー ・ チ ラ シ	テ レ ビ 番 組	観 光 案 内 所	前 回 訪 問 時	そ の 他
全体	757	60.8	22.7	4.1	3.0	4.8	3.8	3.3	2.5	2.2	2.1	2.9	5.9
中国	118	84.7	5.9	2.5	2.5	1.7	-	0.8	-	0.8	-	1.7	8.5
台湾	589	55.5	25.5	4.6	3.4	5.1	4.9	3.6	3.1	2.7	2.0	3.4	5.8

【農林水産物直売所等】

	n (回答品目数)	店頭	知 人 家 族 ・ 友 人 ・	ブ ロ グ	フ ェ イ ス ブ ッ ク 等 S N S	ポ ー タ ル サ イ ト	ポ ー タ ル サ イ ト 旅 行 関 連	旅 行 雑 誌	ポ ス タ ー ・ チ ラ シ	テ レ ビ 番 組	観 光 案 内 所	前 回 訪 問 時	そ の 他
全体	987	60.9	12.8	6.0	4.6	21.2	2.2	5.6	0.8	1.8	0.3	1.9	4.0
中国	365	71.0	11.5	1.4	3.6	19.5	1.1	3.6	1.1	1.9	0.3	-	4.7
台湾	322	58.1	13.0	8.4	5.6	24.8	0.9	6.2	0.6	0.9	0.3	3.4	2.5
香港	185	57.3	15.1	3.2	2.7	21.1	2.7	9.7	1.1	3.8	-	3.2	0.5
韓国	58	27.6	12.1	32.8	6.9	15.5	1.7	3.4	-	-	1.7	1.7	15.5
道の駅許田	74	28.4	13.5	17.6	5.4	28.4	1.4	8.1	4.1	6.8	-	1.4	5.4
古宇利島ふれあい広場	83	47.0	13.3	16.9	6.0	12.0	6.0	8.4	1.2	1.2	2.4	1.2	8.4
第一牧志公設市場	551	58.8	13.6	2.4	4.2	25.8	2.9	5.3	0.4	2.2	-	2.9	4.5
泊ゆいまち	82	53.7	11.0	-	-	30.5	-	8.5	-	-	-	-	-
サンエー那覇メインプレイス	197	87.8	10.7	9.6	6.6	5.6	-	3.0	1.0	-	0.5	0.5	1.5

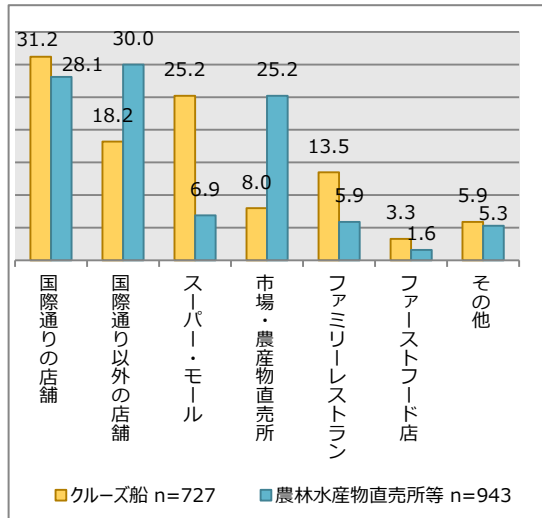
2.12 外食場所と選択理由

・外食場所は「国際通りの店舗」と「国際通り以外の店舗」が両調査とも多く、農林水産物直売所等では「市場・農産物直売所」が多く特徴的です。

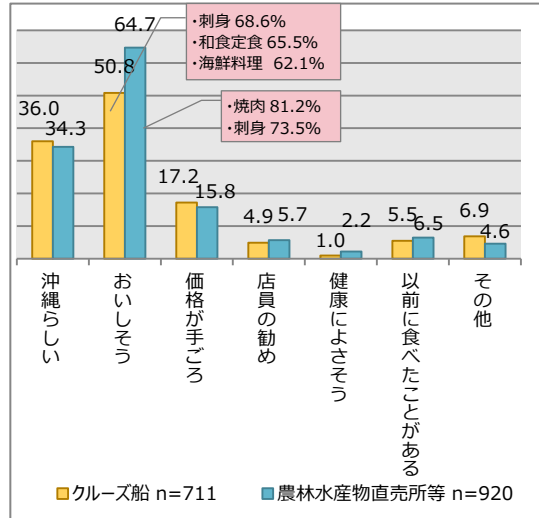
・外食の品目の選択理由は、「おいしそう」との回答が多く、特に農林水産物直売所等では 64.7%となっており、「焼肉」「刺身」を選択した人に多くなっています。

・外食満足度は総じて高く、特にクルーズ船で「石垣牛」を選択した人では「非常に満足」が 76.9%となっています。

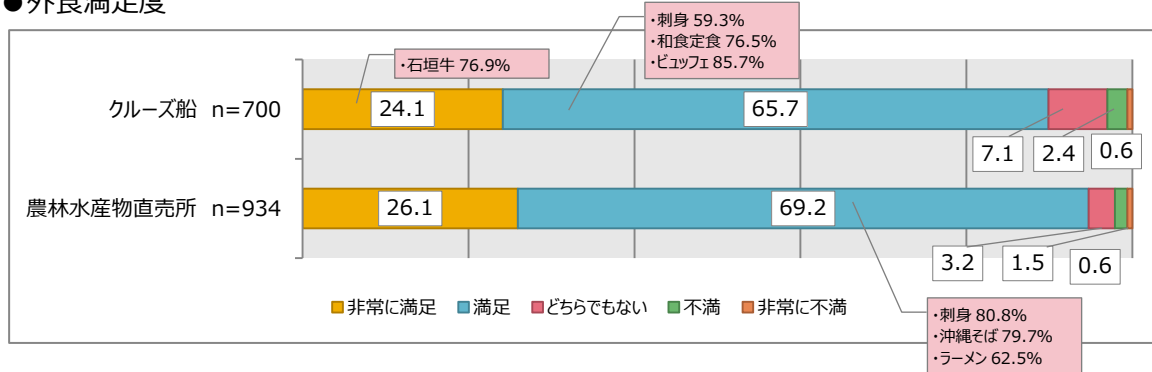
●外食場所



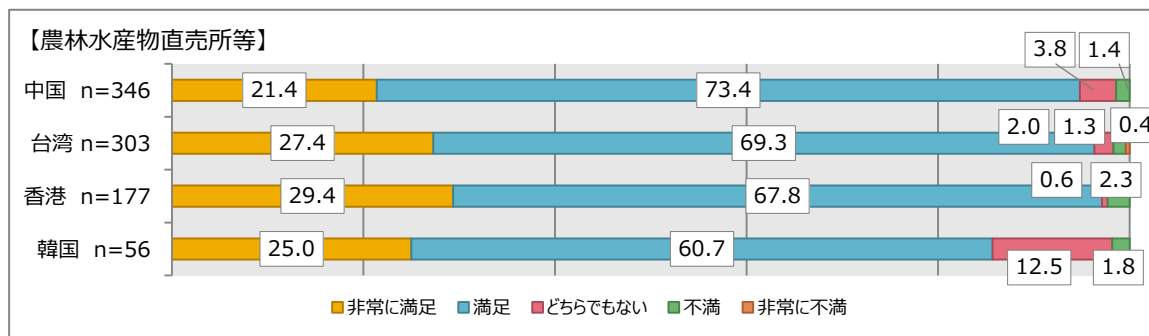
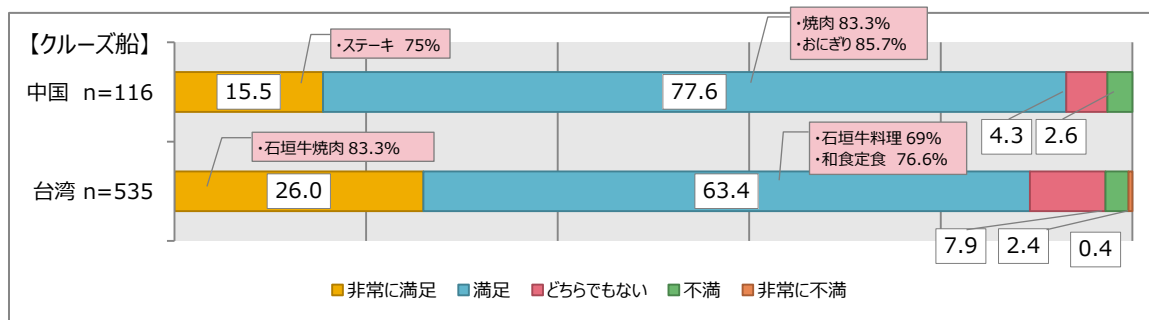
●外食選択理由



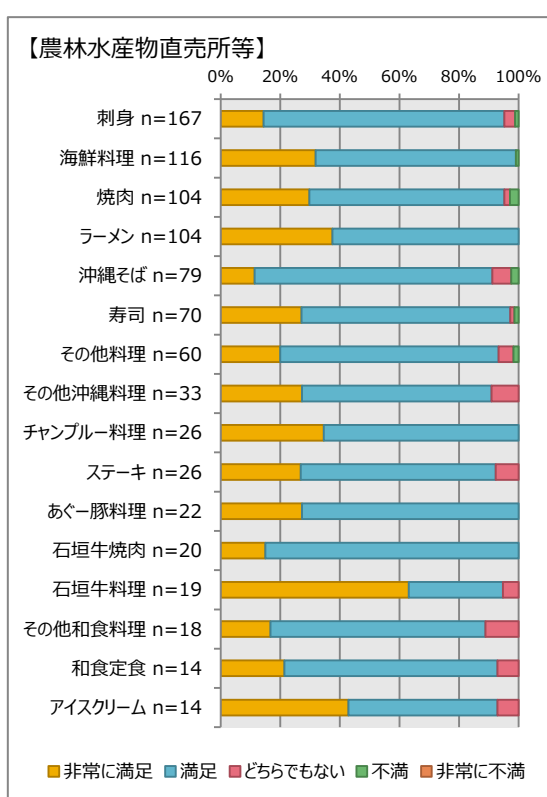
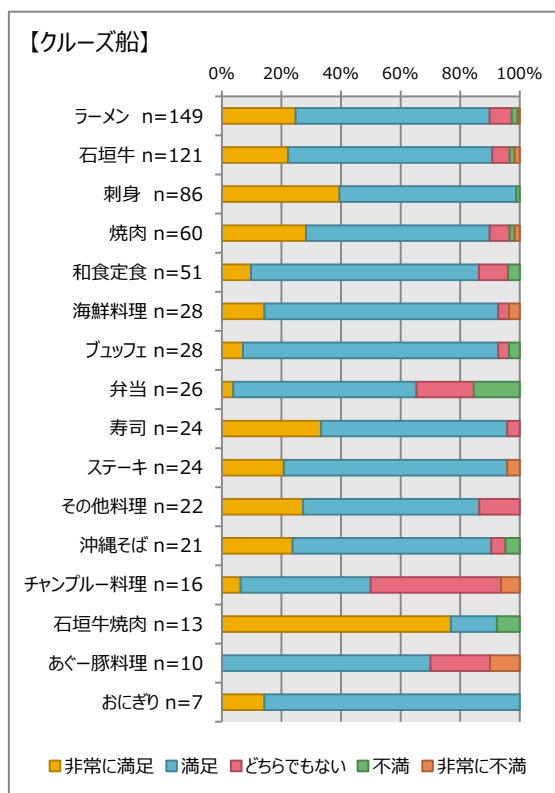
●外食満足度



● 国別外食満足度



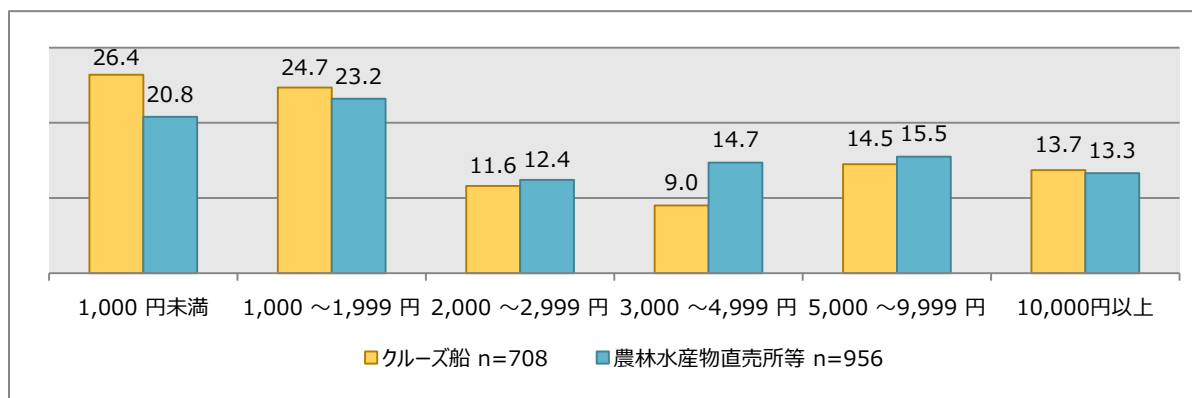
● 外食品目別満足度



2.1.3 外食品の1食平均消費額

・外食品の1食平均単価は、クルーズ船で3,743円、農林水産物直売所等で3,947円と大きな差はありません。但し、クルーズ船では台湾の平均単価が4,114円と中国を大きく上回っています。

・外食品の単価が高い品目は、両調査とも「石垣牛」や「焼肉」となっています。



●外食品目別消費額

【クルーズ船】

	n (回答品目数)	1,000円未満	1,000～1,999円	2,000～2,999円	3,000～4,999円	5,000～9,999円	10,000円以上
全体	708	26.4	24.7	11.6	9.0	14.5	13.7
1 ラーメン	146	25.3	31.5	15.8	9.6	12.3	5.5
2 石垣牛	122	4.9	18.0	4.9	9.8	25.4	36.9
3 刺身	75	22.7	25.3	16.0	16.0	13.3	6.7
4 焼肉	52	9.6	42.3	7.7	9.6	13.5	17.3
5 和食定食	50	22.0	42.0	12.0	6.0	12.0	6.0

●主な国籍・地域、年代別品消費額（平均）

	n	平均 (円)
全体	708	3,743
中国	119	2,059
台湾	546	4,114
10代	42	3,250
20代	116	2,478
30代	145	3,221
40代	131	4,237
50代	132	4,280
60代以上	85	4,235

【農林水産物直売所等】

	n (回答品目数)	1,000円未満	1,000～1,999円	2,000～2,999円	3,000～4,999円	5,000～9,999円	10,000円以上
全体	956	20.8	23.2	12.4	14.7	15.5	13.3
1 刺身	183	4.4	29.0	22.4	15.3	18.0	10.9
2 海鮮料理	119	10.1	17.6	6.7	16.0	31.1	18.5
3 焼肉	108	0.9	5.6	13.0	20.4	18.5	41.7
4 ラーメン	105	34.3	42.9	8.6	9.5	2.9	1.9
5 沖縄そば	79	55.7	24.1	11.4	7.6	1.3	-
6 寿司	67	6.0	28.4	17.9	20.9	22.4	4.5

	n	平均 (円)
全体	956	3,947
中国	355	4,097
台湾	310	3,869
香港	181	4,080
韓国	57	2,921
10代	34	3,471
20代	222	3,509
30代	347	4,108
40代	163	3,969
50代	76	4,599
60代以上	35	4,271

2.14 食品購入で重視する点

・食品購入で重視する点は両調査ともに「沖縄らしさ」「味」との回答が多くなっています。また、農林水産物直売所等で特徴的なのは、中国では「安全性」との回答が他の国よりも多くなっています。

【クルーズ船】

	全体 n=626	価格	知名度	沖縄らしさ	SNS等での評判	味	外国語表記	安全性	保存性	その他
国籍・地域	中国 n=122	32.8	28.7	41	5.7	71.3	2.5	19.7	-	4.1
	台湾 n=472	41.9	23.7	58.3	10	32	7	19.3	9.5	2.1

【農林水産物直売所等】

	全体 n=522	価格	知名度	沖縄らしさ	SNS等での評判	味	外国語表記	安全性	保存性	その他
国籍・地域	中国 n=189	28	25.9	57.7	15.3	52.9	2.6	29.6	6.3	1.6
	台湾 n=183	29	27.9	61.2	27.3	51.9	4.4	17.5	8.2	1.6
	香港 n=87	26.4	17.2	48.3	20.7	58.6	3.4	21.8	5.7	1.1
	韓国 n=33	33.3	18.2	63.6	21.2	36.4	-	15.2	-	3
調査地点	道の駅許田 n=44	29.5	31.8	65.9	20.5	45.5	2.3	13.6	-	4.5
	古宇利島ふれあい広場 n=43	30.2	16.3	53.5	16.3	46.5	2.3	25.6	2.3	2.3
	第一牧志公設市場 n=263	30	29.7	58.2	23.6	54	2.7	19.4	9.5	1.5
	泊いゆまち n=39	25.6	7.7	46.2	20.5	64.1	5.1	20.5	2.6	-
	サンエー那覇メインプレイス n=133	23.3	19.5	57.1	17.3	51.1	4.5	29.3	5.3	2.3

2.15 外食購入で重視する点

・外食で重視する点は、食品の場合と大差はありませんが「味」との回答の方が多くなり、特にクルーズ船の中国では「味」との回答が台湾よりもかなり多くなっています。

【クルーズ船】

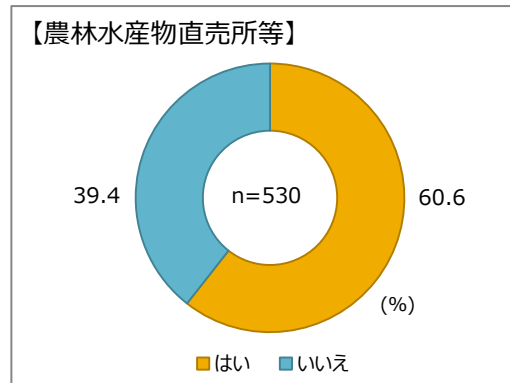
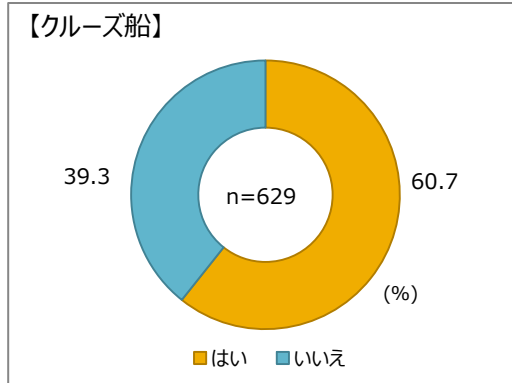
	全体 n=592	価格	知名度	沖縄らしさ	SNS等での評判	味	外国語表記	店舗の雰囲気	Wi-Fi環境	量が多い	その他
国籍・地域	中国 n=110	21.8	8.2	31.8	3.6	74.5	2.7	20.9	18.2	2.7	1.8
	台湾 n=452	38.3	16.4	48.5	7.3	36.1	15	15	13.7	1.8	4

【農林水産物直売所等】

	全体 n=522	価格	知名度	沖縄らしさ	SNS等での評判	味	外国語表記	店舗の雰囲気	Wi-Fi環境	量が多い	その他
国籍・地域	中国 n=189	18	25.4	55.6	20.6	64	6.9	27	3.2	-	2.1
	台湾 n=181	21.5	27.1	57.5	33.7	51.4	6.1	21.5	3.9	1.7	2.2
	香港 n=87	25.3	17.2	55.2	27.6	63.2	5.7	17.2	2.3	1.1	4.6
	韓国 n=34	41.2	17.6	52.9	29.4	35.3	2.9	20.6	-	2.9	-
調査地点	道の駅許田 n=44	36.4	31.8	52.3	29.5	40.9	6.8	9.1	4.5	-	6.8
	古宇利島ふれあい広場 n=43	25.6	20.9	55.8	18.6	44.2	9.3	23.3	11.6	4.7	2.3
	第一牧志公設市場 n=266	24.8	28.6	55.3	29.7	59.4	6	25.6	1.9	0.4	2.3
	泊いゆまち n=39	23.1	5.1	48.7	25.6	82.1	2.6	20.5	2.6	5.1	-
	サンエー那覇メインプレイス n=130	13.1	17.7	56.9	21.5	56.9	6.2	20.8	2.3	0.8	2.3

2.16 農山漁村体験への意向

- ・農山漁業体験への意向は、両調査ともに約 6 割が「はい」と回答しており、潜在ニーズがあります。
- ・体験種別では「地元の食材を使った料理体験」が最も多く、次いで「農家民宿」となっています。



【クルーズ船】

	全体 n=378	農家民宿	収穫などの農業体験	農家レストラン	地元の食材を使った料理体験	漁業体験	その他
国籍・地域	中国 n=70	51.4	7.1	40.0	42.9	21.4	-
	台湾 n=290	34.5	13.8	37.2	58.6	24.1	2.8
性別	男性 n=276	41.7	11.3	35.7	48.2	27.4	1.8
	女性 n=341	36.5	13.3	38.4	60.1	20.7	2.5
年代	10代 n=34	39.1	21.7	56.5	47.8	30.4	4.3
	20代 n=108	46.2	24.6	38.5	66.2	36.9	1.5
	30代 n=121	41.3	7.9	27.0	57.1	22.2	-
	40代 n=107	36.4	9.1	37.9	59.1	15.2	3.0
	50代 n=128	41.7	9.5	39.3	45.2	21.4	1.2
	60代以上 n=82	22.9	6.3	39.6	54.2	22.9	2.1

【農林水産物直売所等】

	全体 n=323	農家民宿	収穫などの農業体験	農家レストラン	地元の食材を使った料理体験	漁業体験	その他
国籍・地域	中国 n=115	26.1	7	25.2	47	50.4	1.7
	台湾 n=115	32.2	14.8	30.4	57.4	27.8	1.7
	香港 n=55	27.3	16.4	29.1	49.1	41.8	3.6
	韓国 n=21	28.6	19	14.3	61.9	28.6	-
性別	男性 n=154	33.8	15.6	33.8	53.9	40.3	1.9
	女性 n=165	26.1	10.3	21.2	52.7	38.2	2.4
年代	10代 n=14	35.7	7.1	14.3	57.1	28.6	-
	20代 n=67	32.8	10.4	28.4	59.7	31.3	3
	30代 n=132	24.2	16.7	22	58.3	45.5	2.3
	40代 n=50	38	10	44	50	38	2
	50代 n=26	23.1	11.5	23.1	26.9	42.3	3.8
	60代以上 n=10	30	10	40	30	50	-

2.17 農泊 | インバウンド受入農家等

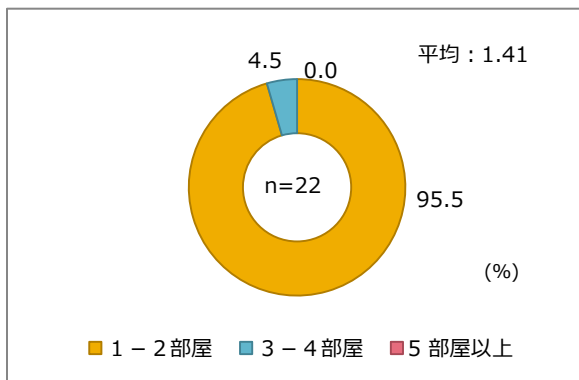
・現在、受入を実施している農家等の宿泊部屋数は「1-2 部屋」が大半で、最大宿泊人数は「5-6 人」が最も多くなっています。

・受入は台湾が 53.3%と過半数を占め、次いで韓国が 20.0%となっています。

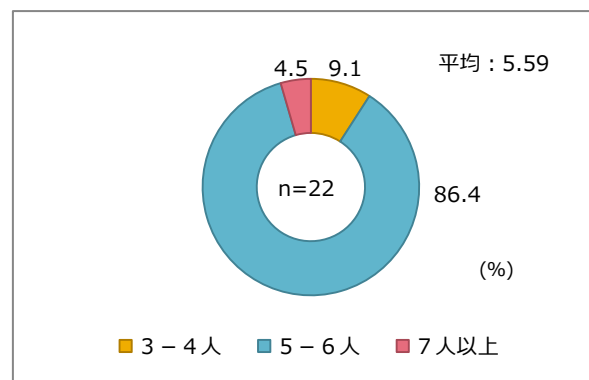
●農泊受入家庭の地点別回答数 ※アンケートの回答をした家庭の回答数

受入状況	総数	名護市	大宜味村	糸満市	東村	読谷村	今帰仁村	伊江村
インバウンド受入れあり	22	2	10	2	2	3	2	1
今後、インバウンド受入予定	45	2	6	14	8	3	-	12
インバウンド受入予定なし	60	-	20	21	6	-	-	13

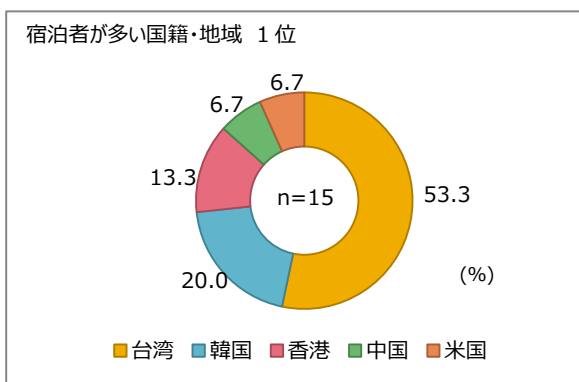
●宿泊部屋数



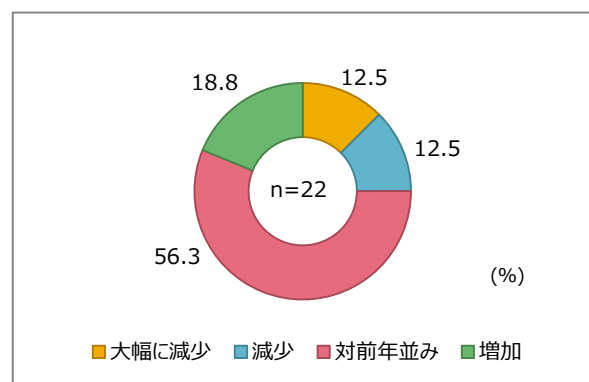
●最大宿泊人数



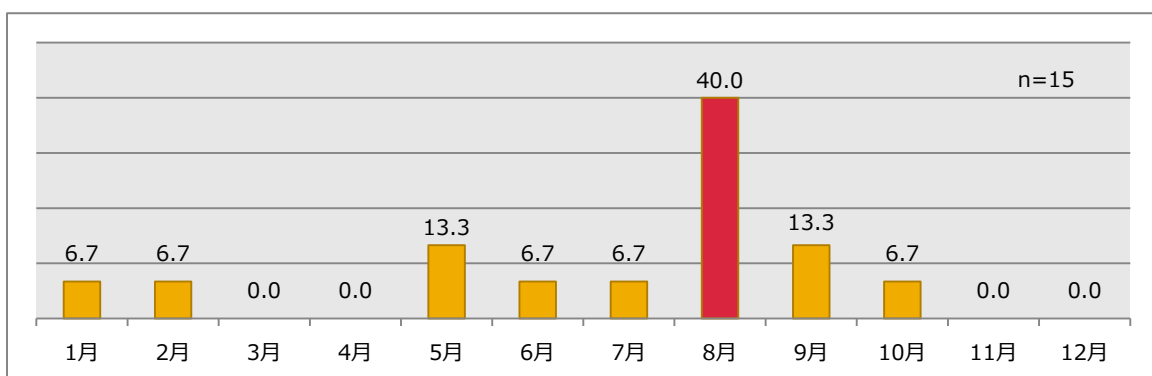
●インバウンドの宿泊動向



●滞在状況の変化

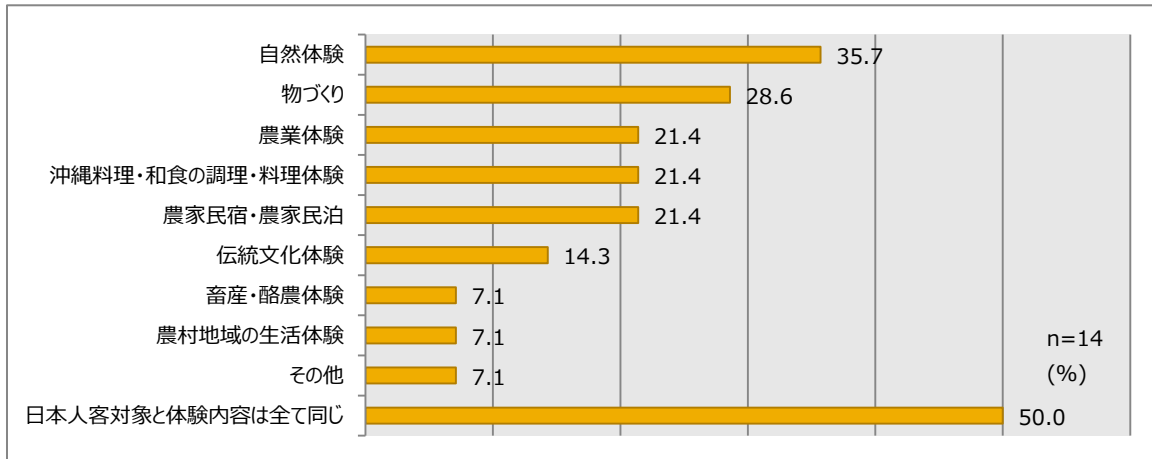


●インバウンドの宿泊が多い月

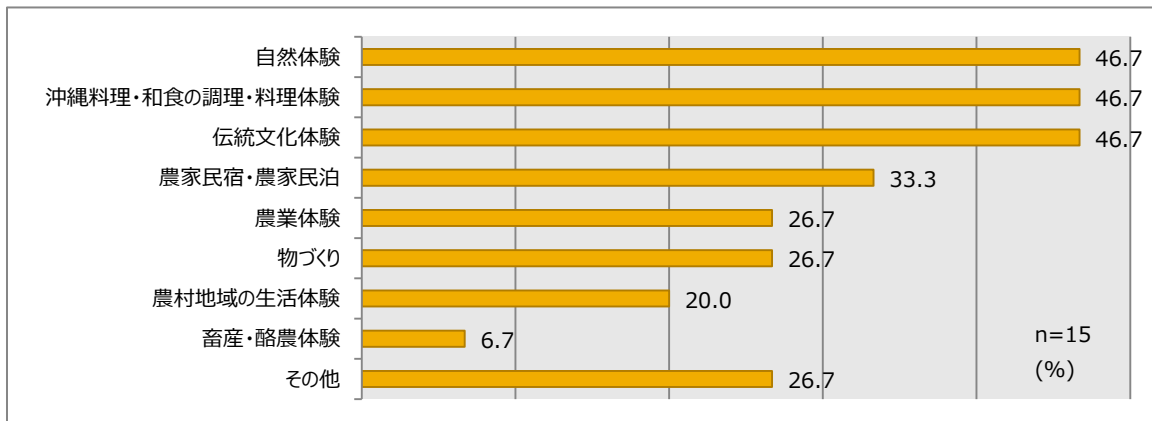


・現在、受入を実施している農家等の提供内容は、「自然体験」が35.7%と最も多く、次いで「物づくり」が28.6%となっています。一方、インバウンドに人気があるのは「自然体験」「沖縄料理・和食調理・料理体験」「伝統文化体験」となっており、「伝統文化体験」についてはニーズよりも実施が少なくなっています。

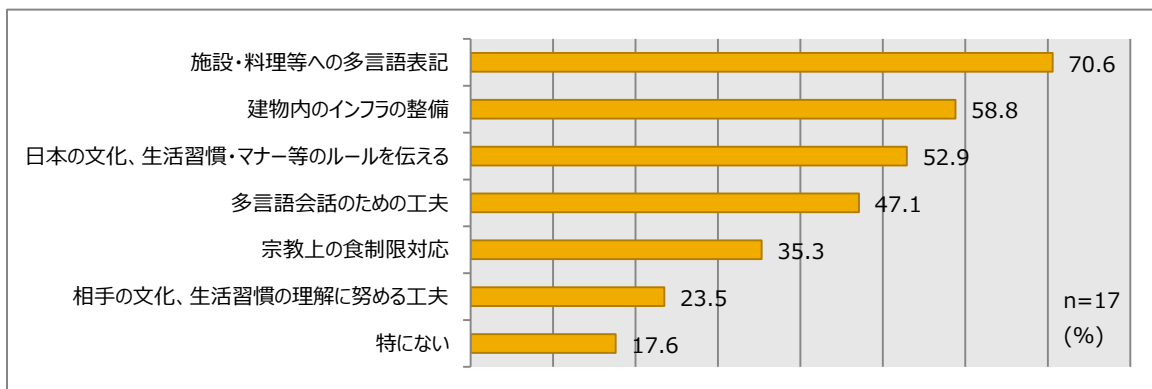
●インバウンドへの提供内容



●インバウンドに人気の内容



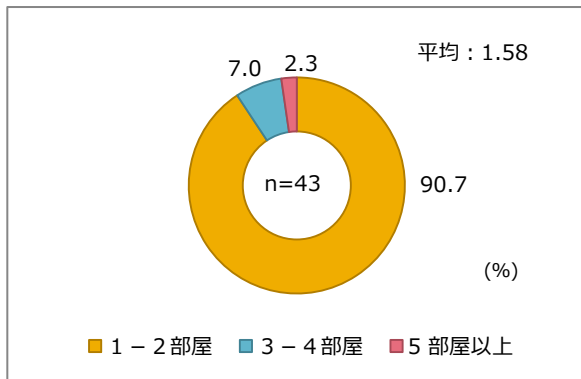
●インバウンドの受入れ環境



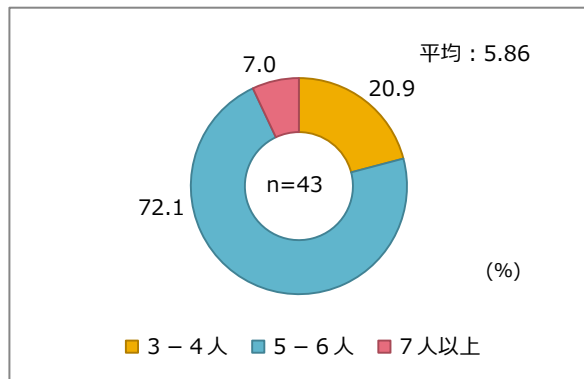
2.18 農泊 | インバウンド受入予定の農家等

・今後受入予定者の宿泊部屋数は「1-2 部屋」が大半で、最大宿泊人数は「5-6 人」が最も多くなっています。
 ・提供可能な内容は「農業体験」「沖縄料理・和食調理・料理体験」が多くなっていますが、ニーズの高い「伝統文化体験」については提供の可能性が低くなっています。

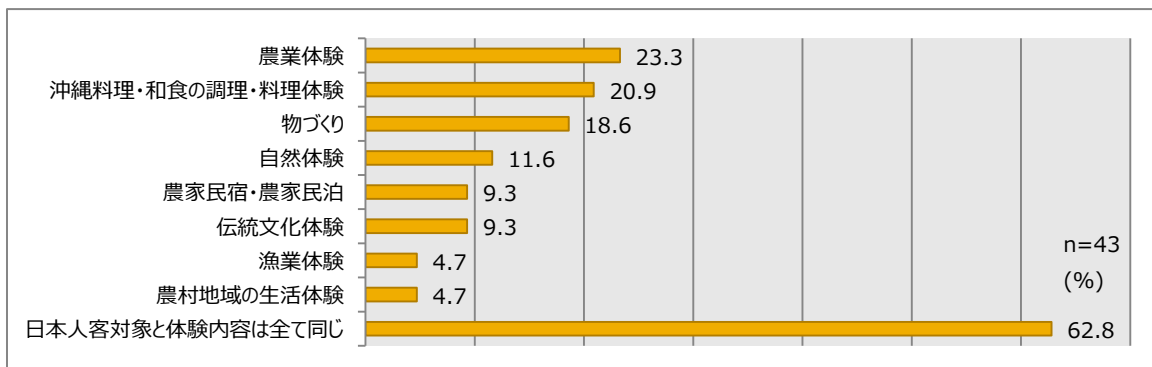
● 宿泊部屋数



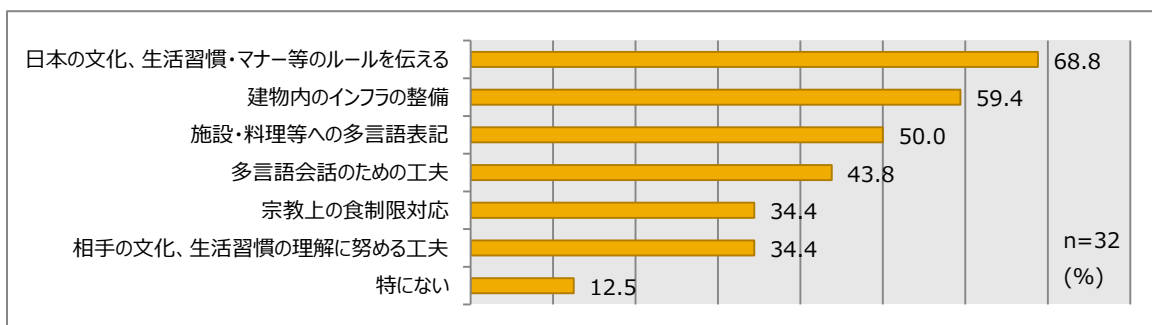
● 最大宿泊人数



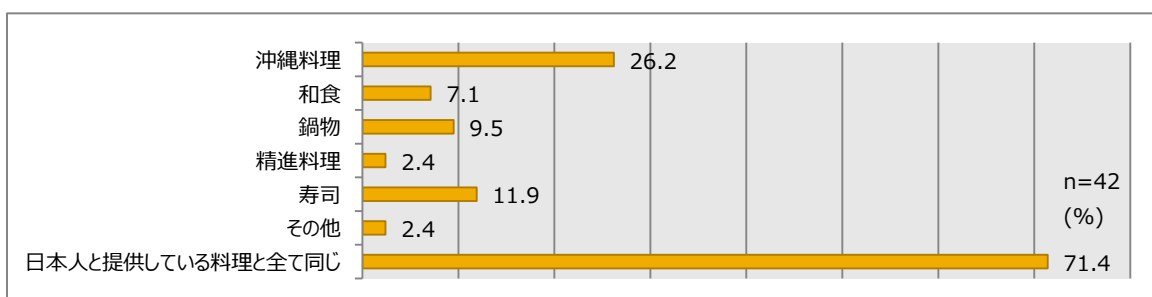
● インバウンドへの提供可能な内容



● インバウンドの受入環境



● インバウンドに提供したい料理



●インバウンド受入の課題

【インバウンドの受入の期待や心配ごと】

- 言語でコミュニケーションがスムーズにいかない。
- 言葉の違い。
- 言語の不通によるトラブル
- 言葉やマナー
- 文化の違いによるトラブル。
- 言語、宗教的、習慣的なこと
- 沖縄の人、自然、文化の魅力を伝え、沖縄ファンを増やしたい。
- 当日の連絡がつきにくい。携帯電話での連絡がしにくい。
- 食事が、口に合うか心配。
- 器物損壊などの時の対応、保険など、病院（病気が）等
- 人類皆兄弟（いちやばちよーでー）精神で受入れている。
- 誠意をつくして接していけば後々、スムーズに遂行出来ると思う。
- 沖縄や日本に好意をもってほしい。
- 国際交流

【インバウンドの受入に際し考えていること】

- スマホでのコミュニケーションをとる。
- 事前にゲストの出身国について学ぶ。
- パソコン、i-phone の活用
- 外国人の長所、短所の勉強、その他
- 宗教上食べてはいけない物に気を使う。
- 意思疎通、文化の違い。
- 異文化に興味あり、生活習慣などをお互いに知り合う。
- イスラムの食生活、習慣を学ぶ。



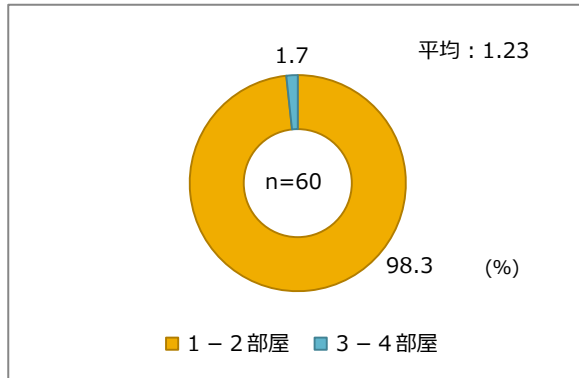
【訪日外国人受入に際し民間、行政への期待】

- 英会話の講習を企画してほしい。
- トラブル時に相談できるコールセンターの設置。
- 窓口になる機関に多言語会話対応のできる方の設置（24 時間）。
- 多言語マニュアルや冊子、生活習慣や宗教的な料理マニュアル冊子などの作成。
- 言語のサークル、企業視察などの要望があれば回れる様にして欲しい。
- 言語のコミュニケーションツールの普及。
- 地元の伝統行事や観光地など、観光情報の外国語対応サイトを充実させてほしい。
- 路線バスの英語によるアナウンス、多言語の道路表示の実施
- 地域の旧所、名跡などの英語版案内所の作成、配布。

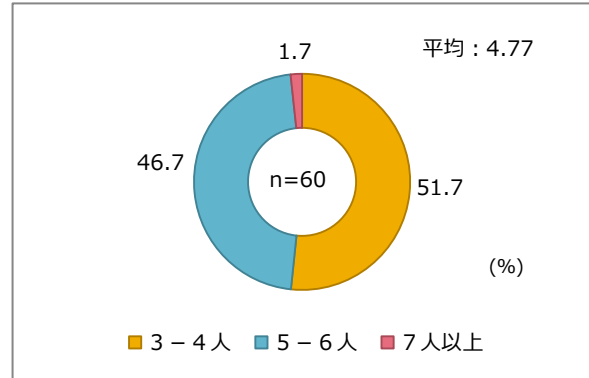
2.19 農泊 | インバウンド受入予定のない農家等

- ・受入の予定がない農家等の宿泊部屋数は「1-2 部屋」が大半で、最大宿泊人数は「3-4 人」が最も多くなっています。
- ・受入れが困難な理由は「通訳がないため意思疎通が困難」との回答が 72.9%と最も多くなっています。

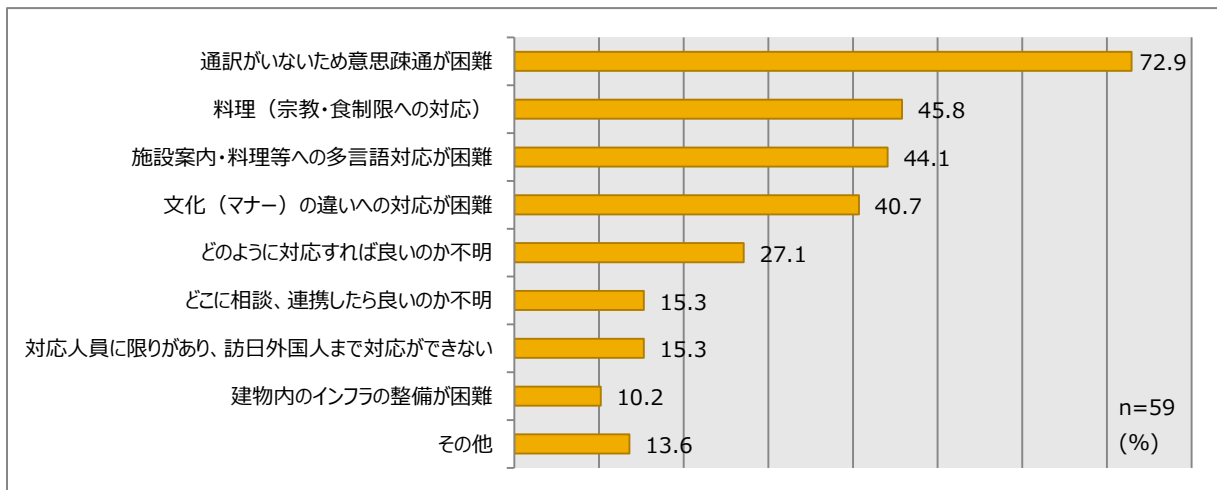
● 宿泊部屋数



● 最大宿泊人数



● インバウンドの受入が困難な理由



● インバウンドの受入れができない理由

- ・ 家の造りが常に空いている個室がないため、一般の大人を泊めるには限界がある。
- ・ 学生の受入れでいいと思っている。
- ・ おばあちゃんが子供たちとふれあいたいという強い希望。
- ・ 修学旅行の学生で十分
- ・ 現状維持で手一杯だと思うので、大人・外国人観光客の方々は断っている。
- ・ やりたくない。

平成 28 年度
沖縄振興推進調査の調査結果報告
「沖縄におけるインバウンドの農林水産物・食品の消費及び
農泊の実態調査」 【概要版】

平成 29 年 3 月

〈調査主体〉

内閣府沖縄総合事務局農林水産部
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち 2-1-1
電話：098-866-0031 FAX：098-860-1194